

第五十二回
帝國議會
衆議院

登錄稅法中改正法律案外三件 委員會會議錄 (速記) 第四回

付託議案
登錄稅法中改正法律案(政府提出)
印紙稅法中改正法律案(政府提出)
砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)
關稅定率法中改正法律案(政府提出)
商事非訟事件印紙法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和二年二月一日(火曜日)午前十時二十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 武藤 金吉君

理事 奧村 千藏君

理事 高橋熊次郎君

理事 清水 長郷君

木檜三四郎君 淺川 浩君

神部 爲藏君 斯波 貞吉君

永田善三郎君 西脇 晋君

堀切善兵衛君 松本 眞平君

山本 慎平君 長田 桃藏君

木暮武太夫君 吉良 元夫君

岩切 重雄君 丹下茂十郎君

増田 義一君

出席政府委員左ノ如シ

大藏省主稅局長 黒田 英雄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

登錄稅法中改正法律案(政府提出)

印紙稅法中改正法律案(政府提出)

砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

○武藤委員長 是ヨリ會議ヲ開キマ

ス、吉良元夫君

○吉良委員 政府ハ昨年第一次稅制整

理ヲ御ヤリニナツテ、此度第二ノ稅制整

理ニ御著手ニナツタノデアリマスガ、私ハ參考ノ爲ニ少シク申述ベテ見タイト思ヒマス、勿論此度御提案ニナリマシタ主ナルモノハ、印紙稅法、登錄稅法、砂糖稅法等デアリマスガ、此度御改正ニ相成リマスルモノノ中、當然御考慮ガナケレバナラヌト思フノハ狩獵稅法デアリマス、此狩獵稅法ナルモノハ稅法トシテハ洵ニ小サイ稅デアリマスガ、是ハ國家ガ大ニ狩獵稅ヲ徵收スルト云フコトガ目的デアルカ否ヤ、之ガ私ニハ能ク分リマセヌケレドモ、私ハ斯ウ云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、勿論狩獵ト云フコトハ、如何ナル國デモ野蠻ノ時代ニハヤツテ居ルノデアリマス、所ガ世ノ中ガ段々開ケルニ從テ鳥獸ガ人類カラ排斥サレテ來ルヤウニナツテ居ルノデアリマス、都會ニ居ル方ミハ、人爲的ニ彫刻繪畫其他非常ニ高尚ニシテ優美ナル樂ヲ致シマスルガ、田舎ニ居リマスル者ハ、左様ニハ參ラヌノデ、而カモ生活ノ趣味ハ單調ニシテ、今日地方農村ノ實狀ヲ考ヘルト氣ノ毒ナ有様デアリマス、吾々ハ常ニ田舎デ生活ヲシテ居ルガ、極メテ乾燥無味ナ生活ヲ續ケテ居ルノデアリマス、唯々

吾々トシテ非常ニ喜ンデ居ッタノハ、鳥獸ノ天然ノ音樂ヲ聞クコトデアリマス、斯ウ云フ事ヲ言フト、如何ニモ奇態千萬ナ事ヲ言フト御考ヘニナルカ知レマセヌガ、是ハ一般田舎ニ居ル者ノ一ツノ趣味トシテ考ヘテ居ルノデアリマス、此意味カラ申スト、曾テ私ハ前議會ノ時ニ鳥獸保護ニ付テ建議案ヲ出シ、通過致シマシテ、多少御考ガアッタモノト見ヘマシテ、段々此禁獵區ヲ設ケ、或ハ狩獵ニ對スル相當保護ヲスルト云フコトヲ常ニ御念リニナラヌ形跡ヲ認メテ、此點ハ敬服ヲ致シテ居リマスガ、私共幼少ノ時ノコトヲ考ヘテ見マサルト、今日田舎ノ方ニ居リマスル鳥獸ノ心理狀態ガ變ッテ來テ居ルト思ヒマス、色々ナ事ヲ言フヤウデアアルケレドモ、私ハ鳥獸ニ對シテ氣ノ毒ニ感ジマス、私モ若イ時代ニ狩獵ヲヤッタコトガアリマスガ、此頃狩獵ヲ致シマスルノニ朝鳩、夕鳩、喰出撃、或ハ雉子ノ獵ニシテモ、鴨ノ獵ニシテモ、鳥屋ガ極ッテ居リマシテ、總テノ鳥ガ澤山居リマスガ「マタイ」モノデアアル、實ニ擊ッテ氣ノ毒ニ感ジテ私ハ止メタノデアリマス、所ガ近來原野ニ居ル鳥獸ガ著シク減少シテ、保護鳥ニ對シマシテモ、容易ニ見當

ラヌ位ニ減リマシタ、例ヘバ鳩ノヤウナモノハ隨分惡イコトヲ致シマス、可愛ラシイ鳥デアアルケレドモ、農作物ニ相當害ヲスルノデアリマス、之ヲ餘リ蕃殖サレルコトハ、農家ノ困ル所デモアリマセウケレドモガ、隨分是ハ可愛想ナ鳥デアリマス、鳩ノ鳴聲ナドハ餘リ結構デハナイケレドモ、洵ニ穩和ナモノデアリマス、之ガ近來著シク減少シテ、殆ド居ナイ位デアッテ、ソレニ近來獵具ガ極メテ精巧ニナリマシタガ、昔ハ一ツ彈デ擊ッタノガ、此頃ハ散彈デ而カモ二連銃デ擊ッノデアリマス、ソレカラ吾々田舎ニ居リマスガ、近來自動車ニ乘ッテ都會ノ人達ガ狩獵ニ來ラレマスガ殆ド各種ノ鳥類ヲ獲リ盡シテ歸ヘルノデアリマス、ソレデアアルカラ吾々ノ考デハ、狩獵規則ニ於ケル一等等ニ屬スルモノニハ隨分高率ナル稅ヲ課ケテ然ルベキモノト思フノデアリマス、全體鳥獸ノ生命ヲ奪ッテ愉快ヲ盡スト云フ人カラ云フト愉快カモ知レマセヌケレドモ、擊殺サレル鳥ハ迷惑ナモノデアリマス、ソレデモ構ハヌト言ヘバソレマデデアリマスガ、吾々ハ基督教ナドノ說ヲ信ジナイ者デアリマス人間ノ爲ニ神ガ之ヲ造ッタト云フコトヲ吾

吾ハ信ズルコトハ出來ヌ、是ハ總テ地上ニ於ケル萬物ハ總テ共存共榮ニシテ行クベキ性質ノモノト信ズルノデアリマス、併ナガラ優勝劣敗トカ云フ原則カラ段々弱者ガ生命ヲ縮メラレ、其種族ガ蕃殖ヲ妨ゲラレテ、世界ニ存在スルコトガ出來ナクナリマスガ、鳥モ農作物ニ害ヲ及ボスヤウナ鳥ハ、相當ニハ撃タザルヲ得ヌカモ知レマセヌケレドモ、大體ドウモ鳥ナドガ社會ニ存シテ居ルト云フコトハ、人類ノ猛烈ナル心ヲ柔和ニ導ク爲ニ存在シテ居ルモノカモ知レヌ位ニ思フ、釋尊ナドモ其說ケル阿彌陀經ノ中ニ、極樂ノ莊嚴ヲ説イテ居リマスガ、其極樂ノ莊嚴ノ中ニ非常ニ優美ニ御説キニナツテ居ル、私ナドハ左様ナ極樂ガ有ルカ無イカハ能ク分リマセヌケレドモ、理想的ニサウ云フヤウニ感ジ得ルノデアアル、吾々ガ東京ヘ罷リ出テ見マスト云フト、三宅坂ノ向フ邊ニ今日デモ非常ニ鴨ガ澤山居リマシテ、安心シテ——實ニ宮城ノ畔ニ安心シテ睡ツテ愉快ニ暢ビリシタ氣分デ遊ンデ居ル、撃タレヌト云フ保障ガアルカラシテ、實ニアレハ一種ノ極樂ノ莊嚴デアアル、吾々ハアレヲ見マスト、何故人類ハ鳥ヨリモ齷齪トシテ洵ニ猛烈ニ其同類間ニ於テ生存競争ヲ續ケ、無慈悲ナ貪婪飽クナキ慾ヲ滿タス爲鬪争ヲシナケレバナラヌカラ疑フノデアリマス、今日ノ如キ日々出來テ居ル社會現象ニ於テ考ヘテ見マシテモ、

帝都ノ真中ニ三十一日ノ夜ナドハ強盜ガ入ッテ、而モ人ヲ短銃デ撃殺シタト云フヤウナ事ガアル、是ハ我輩ノ直キ傍デアアル、鳥ニ對シテ實ニ殘念ニ考ヘルノデアアル、是ハ國家トシテ此狩獵稅ナドヲ取ッテ、國ノ歲入ノ補ヒニナルモノカモ知レマセヌ、左様ナ性質デ狩獵稅ヲ取ルモノデモアリマスマイガ、是ハ此點ニ於テ相當御考慮相成リマシテ、娛樂トカ或ハ贅澤ノ爲ニ鳥獸ノ命ヲ取ツテ樂シムガ如キ事ハ、頗ル高率ナル稅ヲ課ケルノガ私ハ社會ノ爲ニ宜シイ事デアルト思フ、之ニ反シテ食料ヲ取ッテ辛ウジテ生活ヲ立テテ行クヤウナ人方ハ、實ニ氣ノ毒ナ事デアラカラシテ、是ハ已ムヲ得ナイ、山ノ方ニ參リマスト、猪トカ或ハ兎トカ、或ハ其他ノ鳥獸ガ居リマシテ、之ヲ相當取ッテ生活ノ助ニシテ居ル人モアル、是ハ其事柄ハ甚ダ無慈悲ニ似テ居リマスルケレドモ、是ハ已ムヲ得ナイ、耕スベキ自分ノ田畑ヲ持ッテ居ナイ、別ニ生業ノ方法モ付カヌカラシテ、狩獵ヲ以テ今日ノ生活ト爲シテ居ル人ガアルノデアアル、其人方ニモ矢張三等稅即チ十五圓稅ヲ課ケテ居ル、サウシテ其取ッタ所ノ鳩ガ今一羽ナンボニ賣レルカト云フコトヲ調べテ見マスト云フト、田舎デハ漸ク十五圓カ二十圓ニシカ賣レナイ、ソレハ逆モ營業ニナラヌデアラウト思フノデアリマス、併シマア猪デモ取リマス、百斤猪ヲ取リマスト少クトモ五十圓六十圓

ノ金ヲ取リマスカラ、營業ニナルカモ知リマセヌケレドモ、サウ云フモノハ中ニ取レヌノデアリマスカラシテ、此職業ノ爲ニ已ムヲ得ズ生業ニ從事スル爲ニヤツテ居ルヤウナ人方ノハ、寧ロ十五圓ト云フノハ私ハ高率ニ過ギルト考ヘルノデアアル、而シテ又是ハ隔年位ニ狩獵ヲ許スト云フ事ニスルト云フノガ、頗ル私ハ宜シイ事デアラウト思フ、サスレバ此鳥獸ノ保護蕃殖ノ爲ニモ宜シ、是ハ何トカ方法ヲ設ケマシテ隔年ニ——此食料ヲ取ルト云フヤウナ如キ者ハ、是ハ絶對ニ許サヌト云フ譯ニハ參リマスマイガ、今ノ五十圓三十圓ノ稅率ハ甚ダ安キニ失スルノデアアル、現ニ私共ノ所ニ先年來御出デニナル——名ハ申上ゲマセヌガ、大シタ自動車ニ乗ツテ御供連レデ御出ニナル方々ガ、野原ニ居リマス近來都會デモ流行ッテ居リマス何ト申シマスカ燒鳥ノ餘程美ナル肉デアアルト云ウテ、非常ニ取ッテ居ル鶉、此鶉ナドヲ取リニ御出デナサル人方ニ、私ハ汽車中デ御目ニ懸ッタ事ガアリマスガ、甚シキハ三百羽五百羽取ッテ行ク、ソレハマア餘程御樂ミデモアリマセウガ、直入郡荻村トカ或管生村ト云フ所ニハ、鶉ガ非常ニ居ッタノデアリマス、併シ此鶉ナルモノハ田野ノ害ヲスルト云フコトハ餘リ無イノデアリマスガ、群ヲ成シテ居リマシテ、非常ニ面白ク遊ンデ居リマシタガ、殆ド今日ノ有様デハアノ方面ニ居ッタ三百羽五百

羽群ヲ成シテ居リマシタ鶉ト云フモノハ、殆ド最早滅絶ニ垂ントスルヤウナ有様ニナツテ居ルノデアアル、アノ人方ハ山口縣或ハ大阪等ノ金持ノオ方々ガ、自動車ニ乗ッテ撃チニ御出デニナル、コシテモ、一向私ハ苦シイトシナイデアラウト思フ、第一昨年第一次稅制整理ニ於キマシテ、所得稅法ナドト云フモ其率ノ目安カラ考ヘテ見マシテモ、當然此第八條ニ於ケル一等、二等、三等ト云フ此五十圓、三十圓、十五圓ト云フ稅率ニ對シテ、今日ニ於テハ修正ヲ御加ヘニナラナケレバ、甚ダ其平衡ヲ得ナイヤウニ私ハ信ジテ居ルノデアアル、是ハ何故ニ此度ノ稅制整理ノ中ニ御考慮ニ相成ラヌノデアラウカ、私共ニハドウモ分リ兼ネルノデアリマスカラ、當局ニ伺ヒマスノデアリマスガ、私ハ要スルニ此狩獵稅ト云フモノヲ國庫ガ收入トシテ非常ニ御舉ゲニナルト云フ御考デ狩獵稅ヲ御取リニナルノデハナイト思ヒマスル、併シ樂シミノ爲若クハ娛樂ノ爲ニ鳥獸ヲ滅絶セント云フヤウナコトハ、甚ダ御氣ノ毒ニ感ズルノデアアル、田野ニ自然ニ囀ッテ居リマス所ノ小鳥ト云フモノハ、餘リ農作物ニ害ヲシナイモノガ多イ、雀ノ如キハ甚ダ害ヲスルノデアアルガ、其他ノ小鳥ニ於

テハ害ヲスルモノデハナイ、サウシテ
此又鳥ガ田野ニ居リマシテ囀ルト云フ
コトハ、非常ニ吾々此農家ノ者ハ趣味
ヲ持チ、喜ビヲ持チ、之ヲ一種ノ音樂ト
聞イテ今日マデ居タノデアアル左様ナ
事ヲ言ヘバ、先刻モ御笑ニナッタ御方ミ
ガアリマスケレドモ、吾々ノ方面デハ
今日最早鳥獸ノ音樂ガ聞ケナイ爲ニ、
田舎ニ居ルニハ忍ビヌ、洵ニ不愉快ナ
コトデアアルト云フノデ、少シク教育ヲ
受ケタ人方ハ、悉ク都會ニ飛ビ出シテ、
中學教育ヲ受ケタヨリ以上ノ人ハ、農
村ニハ留ツテ居ナイ、都會ニ行ツテ見ル
ト云フト、活動寫眞ガアリ、芝居ガア
リ、種々ナ娛樂ガアリ、非常ニ生活上ノ
趣味ニ於テモ愉快極マリナキモノデア
ル、田舎ニ於キマシテハ斯ンチモノハ
無い、ソレデ今日デハ田舎ノ田畑ノ事
業ニ勵シンデ居ル者ハ、寧ロ年ヲ取ツタ
衰殘ニ向ウタオ爺サン、オ婆サン若ク
ハ身體ガ十分デナイヤウナ人方ガ辛ウ
ジテ田舎デ農業生活ヲヤツテ居ルノデ
アル、是ハ單リ我が地方ノミデハナイ
ト思フ、吾々ガ廣ク全國ヲ行脚致シテ
見マスノニ、田畑ノ事業ニ勵ンデ居ル
人ハドウモ若イ人デハナクシテ、中老
以上ノ人ガ多イノデアアル、是ハ私ハ國
民ノ思想ノ上ニ於テモ、非常ニ慈悲心
ヲ呼ビ起スト云フコトハ、間接ニ非常
ニ效果ガアルト信ズル、現代ノ人ハ非
常ニ無慈悲ニナツテ、殺生ナド何トモ思
ツテ居ラス、人類ガ他ノ動物ニ超越セ

ル一種ノ高等權利カノ如ク思ハレテ居
ル、又例ヘバ近來野犬撲殺ト云フコト
ヲ非常ニ御ヤリニナツテ居ル、是ハ已ム
ヲ得ヌコトカモ知レマセヌ、野犬ガ人
人ニ噛ミ付イタ時ハ、非常ナ怪我ヲ
スルト云フノデ已ムヲ得ズ御ヤリニナ
ルカモ知レマセヌガ、昨年來全國ニ行
ハレタ野犬撲殺ノ如キハ、狩獵ニ關係
ハ無いガ、一例トシテ申セバ其ヤリ方
ガ如何ニモ文明國ニ於テヤルベキ状態
ヲ逸シタ事ヲヤツテ居ル、此警察官ノ處
置ト云フモノハ、言語同斷ナコトト思
ヒマス、是等ノ事ヲ無慈悲殺生ナ事ト
モ罪惡トモ認メテ居ラス、ソレモ野犬
デアレバ致方ハナイガ、良犬デモ飼犬
デモドン／＼撲殺シテ居ル、撲殺者ノ
中ニハ、現ニ一種ノ面白カラヌ人物ガ
居リマシテ、一匹ノ犬ヲ捕ヘ、若シ飼主
ガ出テ來ナケレバ悉ク撲殺スルガ、其
前ニ金デモ持ツテ來レバ其犬ヲ渡ス然
ラザレバ渡サズシテ現ニ多數ノ飼犬ヲ
殺シタ、昨年ナドハ大分縣ニシテモ數
千頭ノ良犬ヲ撲殺シテ居ル、其結果ト
シテ盜賊横行シテ居ルソレニモ拘ラズ
警察ハ更ニ檢舉ガ出來ナイ、ソレデソ
レヲ責メルト、警察ノ方デハ勿論生命
財産ノ保護ハ責任ヲ持ツテ居ルガ、一戸
ニ一人ノ巡查ヲ付ケル譯ニモ行カヌカ
ラ、ドウカ犬デモ飼ツテ自衛ノ道ヲ講ジ
テ貫ハナケレバナラヌト云ツテ居ル、要
スルニ現在ニ於テハ殺生ト云フコトハ
已ムヲ得ヌ、一寸ノ虫ヲ殺シテ大ナル

虫ヲ助ケルト云フコトモアリ、大ナル慈
悲ノ上カラハ殺生ハ致方ガナイト云フ
コトデ、今日ハ殺生ヲ罪惡ト認メテ居
ラヌト云フ風ニ私共ニハ見ヘル、樂ミ
ノ爲メ物ノ命ヲ取ルト云フコトハ、人
類最高道德ノ上ニ於テ良クナイト信ズ
ル、而シテ獵ヲ以テ生活ヲ爲スヨリ他
ニ途ノ無い憐レナ、生計ノ爲ニ獵ヲ營
ンデ居ル者ハ、モウ少シ稅ヲ御下ゲテ
願ツテ、年稅五圓位ニシテモ私ハ宜クハ
ナイカト思ヒマス、之ニ付テ當局ノ御
感想ハ如何ナルモノデアリマセウカ
○黒田政府委員 狩獵稅ニ關シテ種々
ノ方面カラ御述ベニナッタノデアリマ
ス、而シテ鳥獸ノ保護或ハ蕃殖等ニ關
シマスルコトニ付テハ、是ハ農林省ノ
所管デアリマスガ、只今ノ御質問ハ狩
獵稅ノ事ニ主トシテ關係致シテ居リマ
スノデ、私ハ一應御答ヲ申上ゲテ置キ
ダイト思ヒマス、尙ホ不足デゴザイマ
シタナラバ後トデ農林當局ヨリ御答ヲ
願ヒタイト思ヒマス、私ノ承知シテ居
リマス範圍ニ於テ申上ゲマス、只今殺
生ヲ樂ミニスルト云フコトハ、人類ト
シテ惡イ事デアアルト云フ風ナ意味ニ於
テ縷々御述ベニナッタノデアリマスガ、
是ハ一ツノ御見解デアラウト思ヒマ
ス、併ナガラ今日狩獵稅ヲ設ケテ居リ
マスノハ、此狩獵稅ニ依リマシテ鳥獸
ノ狩獵ト云フモノヲ抑制スルト云フ風
ナ意味デ拵ヘテ居ルノデハナイノデ、
鳥獸ノ保護トシテ、又或種ノ鳥獸ニ付

テ是ガ蕃殖ヲ計ルト云フコトハ、是ハ
必要デアラウト思ヒマシテ、此事ニ付
テハ農林當局ニ於テモ種々施設サレテ
居ルコトハ皆サンモ御承知ノコトデア
ラウト思ヒマス、併ナガラ鳥獸ノ狩獵
ト云フコトモ、今日ニ於テハ、一面ニ於
テ之ニ依リテ生計ヲ立テテ居ル者モア
ルノデアリマス、又一方ニ於テハ之ヲ
以テ一ツノ娛樂ト致シテ居ル者モアル
ノデアリマス、之ニ依テ生計ヲ立ツル
者ニハ是ハ差支ナイノデアアルガ、娛樂
ニシテ居ル者ニ對シテハ、寧ロ是ハ禁
止スルガ適當デアアルト云フ風ナ御議論
デアリマシタガ、是ハ一ツノ御議論デ
アルト考ヘルノデアリマスケレドモ、
今日ノ狀況ニ於テハ、山野ノ鳥獸或ハ
河海ノ魚類ニ對シマシテ、是等ヲ漁獵
シテ樂ムト云フコトヲ一般ニ或程度ニ
於テ認メラレテ居ルコトデアリマシ
テ、是ハ唯一ツノ娛樂デアアル、ソレ故
此行爲ニ對シマシテ稅ヲ課ケルニ於テ
ハ、其意味ニ於テ適當ナル稅率ヲ盛ル
ト云フコトハ差支ナイト云フ意味デ、
狩獵稅ト云フモノハ出來テ居ルノデア
リマシテ、歐米各國ニ於テモ、色々ノ方
法ニ依テ是等多少ノ負擔ヲサセテ居
ルヤウデアリマス、勿論狩獵稅ト云フ
モノモアリマスシ、或ハ免許料ト云フ
風ナ形式ヲ以テ課稅シテ居ルモノモア
リマスガ、要スルニ是等ノ行爲ニ對シ
マシテ、負擔ヲサセテ居ルト云フコト
ハ、諸國ニ於テ多ク行ハレテ居ルヤウ

デアリマス、我國ノ狩獵稅ニ於キマシテモ、サウ云フ意味ヲ以チマシテ、是ハ單ニ特許、免許ト云フ意味ノ外ニ、此行爲ニ多少ノ娛樂ヲ含シテ居ルト云フ風ナ意味デ、階級ヲ設ケマシテ稅率ヲ盛ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、然ラバ此稅ニ付キマシテ、今回ノ稅制整理ニ於テ何故ニ改正シナカッタカト云フ御說デアリマスガ、是ハ御承知ノ通り大正十一年ニ改正ニナリマシテ、其後當時ノ内務省ニ狩獵調査會ガ設ケラレ、貴衆兩院ノ議員ノ御方モ委員ニ御加ハリニナッテ居ッタト思ヒマス、私モ其當時委員デ委員會ニ出マシテ、色々御議論モ伺ッタノデアリマス、唯々吉良サンノ御述ベニナリマシタヤウニ、鳥獸ヲ一面ニ於テハ保護シ、蕃殖ヲ計ラナケレバナラス、或ハ禁獵區ヲ設ケルトカ、或ハ獵期ヲ改訂ラスルトカシテ、濫獲ヲ防グコトニシナケレバナラス、或ハ密獵者ノ取締ト云フ風ナ、色々ナ事ヲ當時研究サレタノデアリマシテ、其當時鳥獸保護ト云フコトニ付テハ、今申ス色々ノ施設ニ依テ之ニ當ルコトガ必要デアルト云フ御議論ガアリマシタガ、又此狩獵稅ニ付キマシテモ、當時議論ガアッタノデアリマス、併シ是等ニ付キマシテハ、只今御述ベニナリマシタ通り、之ヲ或ハモウ少シ引上ゲテ、サウシテ生計ヲ營ム者ノ負擔ヲ輕クスル方ガ宜イト云フ議論ガアリ、又之ニ反對スル議論モアッタノデアリマスガ、兎ニ

角十一年ニ改正致シタバカリデアリマシテ、直ニ之ヲ改正スル必要ハナカラウト云フ風ナ意味デ、當時モ委員會ハ決ッタクヤウニ承知シテ居ルノデアリマス、今回モサウ云フ意味ヲ以テ實ハ是ハ據置カレテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、只今申シタヤウニ職業ヲ主トシテ居ル者ト、娛樂ヲ主トシテ居ル者トノ區別ガ非常ニ困難デアリマス、單ニ所得稅ノ納稅額ノ如何ニ依テノミ是ハ區別ガ出來ナイノデアリマシテ、職業ノモノデアルカ、然ラザルモノデアルカ、區別スルコトハ甚ダ困難デアリマス、ソレカラ一等ニ對シテ稅金ヲモウ少シ引上ゲルト云フヤウナ御話デアリマスガ、此一等ハ數ニ於テハ極ク少イノデアリマス、又假ニ之ヲ引上ゲタ所デ、然ラバソレニ依テ吉良サンノ御希望ノ如ク狩獵者ノ數ヲ非常ニ減ズル、禁止的ニ効果アリヤ否ヤト云フコトモ、是ハ程度ノ問題デアリマスケレドモ、之ヲ期スルコトハ困難デアラウト思ヒマス、ソレ故ニ今日ニ於テハ十年ニ改正サレタバカリデモアリマシ、先ヅ今日ドウシテモ之ヲ直サナケレバナラス必要モナカラウト云フノデ、狩獵稅ニ付テハ據置キマシタ次第デアリマス、所得稅ヲ改正シタナラバ、ソレト當然此方モ改正ヲシナケレバナラナイデハナイカト云フ御話デゴザイマシタガ、所得稅ノ改正ハ、御承知ノ通り第三種所得稅ニ付キマシテハ、最低

ノ免稅點八百圓ヲ千二百圓ニ致シタ次第デアリマシテ、稅率ノ變更ハ致シテ居リマセヌカラ、其結果トシテ當然之ヲ改正スル必要ハナカラウト云フ風ニ考ヘタ次第デゴザイマス

○吉良委員 更ニ御伺ヒ致シマスガ、昨年第一次稅制整理ニ廢稅ヲ四箇條ナサツタノデアリマス、所謂醬油稅、通行稅、綿織物稅、賣藥稅ヲ御廢止ニナッタガ、其缺陷ヲ補フ爲ニ酒造稅、麥酒稅、清料飲料稅ヲ御引上ゲニナッタノデアリ、是レ洵ニ負擔ノ均衡ヲ得、稅制整理ノ目的ヲ達シタルモノナリト今日現政府ハ御認メニナッテ居ルノデアル、所ガ之ニ對スル私ハ感想ヲ申セバ、是ハ又人々ノ見方違フノデアリマスガ、其繼續トシテ今日第二ノ稅制整理ヲナサルト云フニ付テハ、私共ノ考トシテハ從來アリマシタ所ノ自家用料酒ヲ社會政策的ノ意味ヨリシテ幾分御許シナル方ガ、其目的ヲ達スルコトニナリハセヌカト思フ、是ハ吾々酒造營業人ノ側カラ言ヘバ、甚ダ矛盾スルヤウデアリマスガ、私ハ今日ノ田舎ノ農民ノ生活狀態ヲ仔細ニ考ヘテ見マスト、實ニ氣ノ毒ニ感ズルノデアリマス、酒ヲ飲ムガ宜イトカ飲マヌガ宜イトカ云フコトニ付テ、近來頗ル世ノ中ニ議論ガアルヤウデアリマス、禁酒宣傳ト云フヤウナル主張者ガ出來マシテ大ナル會ヲ設ケテ機關新聞ヲ出シ、或ハ基督教會ノ各方面ニ於テモサウ云フコトガ行ハ

レテ居ル、此議論ハ國家保安ノ上ニ於テ私ハ相當有效ナモノデアルト信ズルノデアリマス、私ガ何カ酒ノコトヲ申スト、飲ムコトヲ主張スル、左利キ黨ノヤウニ誤リ傳ヘラレテ居ルコトハ甚ダ遺憾デアル、私ハ父祖ノ業、此酒造ノ營業ヲ抛ッテ廢メヤウト思ウタコトガアルガ、私ノ先生井上先生ヨリ、ソレニハ及ブマイ、父祖ノ道ヲ改メテマデ廢メル必要ハナカラウト云フ訓戒ヲ受ケタルノデ、私ハ今日ヤッテ居ルノデアリマス、併シ聖賢ノ教カラ考ヘテ見マスト、私ノ信ズル佛教ナドニ於テハ、殊ニ飲酒ト云フコトニ付テ、不飲酒ト申シテ非常ニ御戒メニナッテ居ルノデアリマス、私共學生ノ内ニハ一滴モ飲マナカッタガ、今ハ習慣ノ爲ニ晚酌ハ少々ヤリマスガ、決シテ醉ッ拂ヒハ致シマセヌ、話ノ筋道トシテ御聽キテ願ヒタイノデアリマスガ、社會ニ酒ヲ斷チ得ルヤ否ヤ、絕對ニ酒ヲ社會ニ禁ジタナラバ、理想的ノモノデアラウト思フ、私極樂淨土ト云フ所ニハ酒ハナイデアラウト思フ、若シ社會ニ酒ガナカッタナラバ、決シテ紛爭モ生ゼズ、殺戮爭鬪姦淫モ行ハレヌデアラウ、私ハ理想的ニハソレヲ希望スルケレドモ、扱テ人間ハ佛デモ菩薩デモナイ、御釋迦様ノヤウナ偉イ方、孔子ノヤウナ聖人デハナイ、凡夫ノ此社會、五濁惡世カモ知レマセヌ、併シ其處ニハ相當ナルコトガアルノデアリマス、吾々曾テ研究スル所ニ依テモ、

梵綱經ニ於テモ四重禁戒ニ亞キ酒戒ヲ御立テニナツテ居リ、長阿含經ニハ六失ヲ御立テニナリ、出曜經ニ於テモ三十六失ヲ御立テニナツテ居ル、沙彌尼戒經ノ中ニハ十六失、大智度論ニ於テハ三十五失、四分律ト云フ律法ノ中ニハ十失ヲ御説キニナツテ居ル、婆娑論ノ中ニハ極端ニ教ヘラレテ草頭ノ露程モ飲ム勿レト云フ位ニ御説キニナツテ居リマ

リ智慧ノ無イモノデアアルカラ、酒ハ是非飲マヌ方ガ宜イト思フガ、今ノ農民ノ状態ヲ見マス、モウ少シ高尚ナ樂ミヲ以テ、文學趣味、音樂趣味ヲ持ツテ居ッテ、色ミナ詩ヲ作り歌ヲ作りシタル者ガ、今ハサウ云フヤウナ事ガ出來ナイノデアアツテ、田舎ノ生活デハ御祭盆正月或ハ五節句ト云フ時ニ、酒ヲ少々戴イテ、ソレヲ以テ洵ニ樂ミトシ鬱ヲ忘レテ、ソレヲ人生ノ樂ミトシテ居ルト云フコトハ、人トシテ是ハ已ヲ得ナイコトデアリマス、ソレデアリ

マスカラシテ、或ル時ハ自家用料酒ヲ御許シニナツテ居ッテ時代ガアル、斯様ニ國家ガ酒ノ上ニ付テ重稅ヲ御課シニナル上ニハ、社會政策的ノ見地カラ以テ見マス、貧民ハ——貧民ト云フノハ惡イカ知レマセヌガ、農業ヲスル人等ニ自家用料酒ヲ許シテモ、ソレハ害ガアル、ハ一向思ヒマセヌケレドモ、何故ニ評サヌノカ、ドウシテサウ云フ事ヲ私ガ言フカト云フト、田舎ノ農家ノ副産物デ焼酎ノ如キモノハ、洵ニ簡單ニ立派ナモノガ得ラレル色、ノ方法ガアル、麥粟稗唐黍ノヤウナモノデアルトカ、其他ノ餘タモノデ到底食物トシテ之ヲ利用シ得ラレナイモノヲ、或ル程度マデ之ヲ麴ニシ醪ヲ造ッテスレバ、立派ナ燒酎ガ出來テ、ソレヲ飲ンデ喜ンデ生活シ得ラレルノデアリマ

ス、之ヲ何故ニ御禁ジニナツタノデアリマスカ、畢竟斯ウ云フ事ヲヤラセルト、國家ニ對スル酒造稅ノ收入ガ少クナルト云フ增稅ト共ニ、一寸何時ノ時代デアッタカ正確ニ記憶シテ居リマセヌガ自家用料酒ヲ禁ジラレタノハ、我國ノ酒稅ノ歴史ヲ考ヘテモ、維新頃ハ洵ニ些細ナ稅デアツテ、私ノ記憶スルところデハ、營業稅トシテ初ハ一錢デアッタノガ、二錢トナリ、四錢ニナツタノデ、中ミ大騒ギデアッタ、自由黨ノ植木枝盛氏ハ大阪デ全國酒造家大會ヲ開イテ、一升四錢ノ課稅ニ非常ナル反對ヲシタノデアリマス、此頃ニ吾々ノ同業家ハ非常ニ激減ヲシタ、ソレカラ以後四錢ガ七錢ニナツタノデアリマス、其後モ亦十錢トナリ十三錢トナリ、ソレカラ時代ノ進運ト共ニ遂ニ原内閣ノ時ニ八八艦隊ヲ完成スル財源ヲ產出ス爲ニ、石三十三圓ト云フコトニナツタノデアリマス、是ハ國家ノ進運上又國防上致方ガナイモノトシテ、吾々ハ贊成ヲ致シタノデア

認めラレテモ、一方ニ於テ酒造稅ノ方
 デ増サレルト同ジデアルト云フト云フ
 ヤウナ事デ、少シモ喜ンデ居ナイト云
 フ實情ニ在ルノミナラズ、是ハ少シ横
 道ニ這入りマスケレドモガ、此地租ニ
 シテ自分ガ作ルモノデアレバ、二百圓
 未滿ハ地租トシテ徵收シナイノヲ作ラ
 ス者ガ取ラルルノデアアル、サウスレバ
 自作及自作セザル者トノ見別ケト云フ
 モノハ村役場ノ事務ノ上ニ於テ非常ナ
 ムヅカシイ複雑シタコトデ、今是ガ判
 ラヌデ現在ハヤツテ居リマスケレドモ、
 ソレハ不正確ナモノデアアル、實ハ間違
 ガ澤山出來テ居ルケレドモ致方ガナイ
 モノトシテ、地方民ハ今日其事ニ付テ
 ヤカマシク言ツテ居リマス、實ハ斯ノ如
 キ苦情ヲ言ツテ咄嗟ノ間ニ之ヲ實行シ
 テ居リマスガ、其實行ニ付テ町村ノ執
 務ノ上ニ間違ッテ居ルコトガ、出來テ居
 ルノデアリマス、併シ此負擔ガ一方ニ
 於テ減ジタノデアアルガ、其減ジタノハ
 一方ニ於テ酒稅トナリ、差引勘定ハ得
 ル所ガナイト云フ結論ニナルノデア
 ル、ソコデ要スルニ私ノ申上ゲマス所
 ハ、此營業人ノ事ニ付テハ後ニ申上ゲ
 マスガ、政府ハ第二次稅制整理ニ於テ、
 此國民負擔ノ權衡ヲ得セシメ社會政策
 的ノ見地カラ稅制整理ヲ御ヤリニナル
 ト云フ上ニ於テ、何故ニ地方農民總體
 ノ上ニ唯一ノ慰安トナル目的物、酒ノ
 自家用料ノ免除ヲ御考慮ガナカッタノ
 デアルカ、併ナガラソレトモ當局ニ於

テ其邊ハ十分御考慮ニナツテ取調ベノ
 結果致方ガナイト云フコトデアアルカ、
 ソレヲ大體ニ承リタイノデアリマス、
 サウ云フ事ヲ申シマスルト、都會ニ居
 ル方々モ隨分御苦ミニナルカ知レヌケ
 レドモ、ソレハ都會ニ居ル人々ハ生活
 上ニ於テ大體地方農民ノ生活ト、衣食
 住全般ノ生活程度ガ違ッテ居ル、都會ニ
 出マシテ見マスルト、吾々實ニ驚クノ
 デアル、銘酒ト云フモノニ於テハ、三圓
 五十錢、三圓、二圓七八十錢ト云フヤウ
 ナ高價ヲ以テ賣ッテ居ルノデアアル、御飲
 用ニナル方々モ、隨分酷イト考ヘテ居
 ルカ居ラヌカ、其點ハ知リマセヌガ、兎
 ニ角都會ニ於テハサウデアリマスガ、
 田舎ニ於テハ酒ハ比較的安イ、我ガ地
 方ノ如キハ、營業者困難ノ理由ニ依リ
 マシテ、立派ナ酒デアリナガラ、昨年來
 甚シキ濫賣ヲ爲シタ者ハ、卸賣六十二
 圓、或ハ五十八圓ト云フヤウナ極端ナ
 ル安イ値ガアッタノデアアル、而シテ一般
 普通ニ行ハルル小賣値段ハ一圓乃至一
 圓二十錢デアアル、大分別府ト云フヤウ
 ナ所、或ハ其他ノ都會地ニ於テモ一圓
 三十錢乃至一圓五十錢ヲ出テナイノデ
 アル、吾々ノ方デハ一圓乃至一圓二十
 錢、ソレデハ其品質ガ惡イ、所謂田舎酒
 ノ、口ニスルニ堪ヘナイ酒デアルト云
 フ風ニ御考ニナルカモ知レマセヌガ、
 今日ハ幸ヒ大藏省デ醸造試驗場ヲ御設
 ケニナツテ、御研究ノ結果、標準ガ大體
 出來タモノデアリマスカラ、相當飲料

ニ供シ得ラレル酒ガ出來テ居ル、唯々
 田舎ニ於テハ生活程度ガ低イ爲ニ三割
 五分トカ四割トカ、四割五分ト云フヤ
 ウナ、極ク良イ酒ヲ拵ヘテモ、サウ云フ
 高イ酒ハ賣レナイ、今申シマヌヤウニ
 一圓カ一圓二十錢ト云フヤウナコトデ
 アルカラ、ソレナ上等ノ物ヲ拵ヘテモ
 損ガ行クカラ造ラナイ、併シ實際ニ造
 ラウト思ヘバ、吾々ノ縣ニ於テモ造ル
 コトハ出來ル、私共モ造ッテ見タコトガ
 アリマスガ、何ヲ申シマシテモ地方農
 民ノ生活狀態ニ於テハ、サウ云フ物ハ
 用キラレマセヌ、殊ニ農産物ノ價カラ
 考ヘテ見マシテモ、實ニ安イモノデアリ
 マス、現在麥ハ一升十二錢、小豆ハ十八
 錢、大豆ハ十三錢位シカシテ居ラス、薪
 ハ極ク上等ノモノデ十貫三十二錢、玄米
 一升三十三錢ト云フヤウナコトデア
 カラ、農民ニ於テハ一圓五十錢ト云フ
 ヤウナ酒ハ到底買ヒ得マセヌ、私共營
 業シテ居ッテ、實ニ氣ノ毒ニ思フノデア
 リマス、三十貫ノ薪ヲ馬ニ乗セテ一里
 以上モ來テ九十六錢シカ取レナイ、一
 圓ノ酒ヲ一升買フノニモマダ四錢足ラ
 ナイ、ソレラノコトヲ考ヘテ見ルト、一
 律平等ニ、一圓ノ酒ニモ三圓ノ酒ニモ
 一石四十圓ト云フ稅ヲ課セラレルト云
 フコトハ、決シテ當ヲ得タモノトハ考
 ヘラレマセヌ、而モ一圓二十錢ノ酒モ、
 都會ノ方ガ御考ニナツテ居リマヌヤウ
 ニ、決シテ飲マレヌ酒デアアリマセヌ、
 少シ強イカ知レマセヌガ、相當ノ物デ

アル、若シ高ク賣レルナラ、灘酒ニモ劣
 ラヌ立派ナ酒ヲ造ルダケノ研究ガ出來
 テ居ル、是ハ地方トシテ致方ガナイノ
 デアリマス、左様ナ狀態デアリマスカ
 ラ、今申上ゲマス通りニ、農家ニ於テ諸
 トカ黍トカ麥トカ云フヤウナモノヲ原
 料トシテ醪ヲ造リ、ソレデ燒酎ヲ拵ヘ
 テ飲ムト云フコトヲ得マスレバ、地方
 ノ農民ハ非常ニ喜ブノデアリマス、又
 サウスレバ國家ノ利益デアラウト思
 フ、然レニ今日ハ自家用料酒ト云フモ
 ノハ斷ジテ御許シニナツテ居ラス、是ハ
 社會政策ト云フヤウナコトヲ高調力説
 サレ、又ソレガ眞ニ必要ナル今日ノ時
 節ト御考ニナリマヌナラバ、是非共自
 家用料酒ト云フモノハ或ル程度マデ之
 ヲ御許シニナツテ、庶民階級、殊ニ地方
 ノ勞働者農民ヲ喜バシタ方ガ、私ハド
 レ位宜イ政策デハナイカト思フ、此事
 ニ付テノ御考慮ガアリマシタカ、若シ
 御考慮ガアッタトスレバ、左様ナコトガ
 出來ナイト云フ理由ハ何レニアアルノデ
 アルカ、又ハ御考慮ガナカッタノデア
 ルカ、其點ヲ伺ッテ置キタイノデアリマ
 ス

○黒田政府委員 色々酒ノ害ヲ御述ベ
 ニナリマシテ、結局今日酒ヲ消費シテ
 居ル庶民階級ニ於テハ、酒ノ負擔ガ重
 イノデアアルカラ、自家用料酒ヲ許スコト
 ガ適當デアルト考ヘルニ拘ラズ、今回
 政府ハ何故ニ此點ヲ考慮シナカッタカ
 ト云フ御質疑デアッタヤウニ思ヒマス、

自家用酒ヲ許スト云フコトニ付キマシ
テ、酒造家デアラレル吉良君ヨリ左様
ナ御意見ヲ伺フコトハ、誠ニ私ハ意外
ニ存ズルノデアリマス、酒ニ付キマシ
テハ、今日一石四十圓ト云フ税率ヲ課
シテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク相當
高イ税ノ課セラレテ居ルモノニ付キマ
シテ、若シ之ヲ許スコトニナリマス、
其取締ガ甚ダ困難デアリマス、自家用
トシテ酒ヲ造ルコトガ出來ルヤウニナ
リマスレバ、多少多クノ酒ガ造ラレル、
而モソレハ比較的交通不便ノ所ニ多
イ、又交通不便ノ所ニ其必要ガアルト
思ハレマス、サウ云フ所ニ自家用酒ガ
澤山出來マス、四十圓ノ造石税ヲ課
ケラレタ所ノ酒造家ノ造リマシタ酒
ト、自家用酒トノ區別ハ、市場ニ出タモ
ノ、或ハ消費者ノ手ニアリマス場合ニ
於テモ、之ヲ區別スルコトハ困難デア
リマシテ、取締ガ致シ兼ネル、隨テ相當
高イ税ヲ課ケラレテ居ル酒造家ノ事業
ニ、一面ニ於テハ脅威ヲ與ヘルコトニ
ナルト考ヘルノデアリマス、又一面カ
ラ申シマス、只今吉良サンガ御述ベ
ニナリマシタ通り、酒ニハ害ガアル、寧
ロ飲マナイ方ガ宜イノデアルト云フコ
トヲ力説サレマシタガ、酒ノ害ト云フ
コトニ付キマシテハ、色々ノ見方ガア
ラウト思ヒマスガ、第一品質ノ惡イ所
ノ酒ヲ飲ミマス、衛生上ニ於テモ色
色ノ害ガアル、濫酒ノ結果色々ノ弊害
ヲ來スト云フコトハ別ト致シマシテ

モ、酒質ガ惡イト衛生上害ガアルト云
フコトハ申スマデモナイノデアリマ
ス、ソレ故ニ政府ニ於キマシテモ、一面
ニ於テハ酒ニ對シテ高率ノ税ヲ課シマ
スルト同時ニ、一面ニ於テハ其品質ヲ
改善スルコトニ付キマシテ、出來ルダ
ケノ研究モ致シ、當業者諸君ニ之ヲ御
示シテ、改善ヲ希望シテ居ルノデアリ
マス、酒ノ品質ヲ良クシテ、酒其モノカ
ラ來マス所ノ衛生上ノ害ヲ除クコトニ
努力シテ居ルノデアリマス、是ハ獨リ
政府ガ努力致シテ居ルノミナラズ、當
業者諸君ニ於テモ十分ニ御考ニナリマ
シテ、改善ヲ講ゼラレツアルコトハ、
吉良君ノ御述ベノ通りデ、今日ハ何レ
ノ地方ハ參リマシテモ、相當優良ナル
酒ガ出來ルト云フ狀況ニナッテ居ルコ
トハ、誠ニ喜バシイコトデアリマス、以
前ニハ地方ニ於テ酒ヲ飲ミマス、隨分
酒其モノノ直接ノ害ヲ受ケルコトガアリマ
シタガ、今日ニ於テハ何レノ地方ハ參リ
マシテモ、左様ナ害ハ少イ、或ハ寧ロ殆ド
無クナルト云フヤウナ狀況ニ進ミツツ
アルト云フコトハ、其點カラ申シマシ
テ非常ニ喜バシイコトト考ヘテ居ルノ
デアリマス、併ナガラ之ヲ若シ自家用
酒ヲ許シマシタ場合ニ於テハ、ドウシ
テモ品質ノ改善ト云フコトハ出來ナ
イ、自分ノ家デ造リマスモノハ、是ハ專
門的ニ研究ヲシ改善ヲシテ行クノデア
リマセヌカラ、ドウシテモ品質ガ惡イ、
醸造上ニ於テ種々ノ惡イ性分ガ加ハッ

テ來ルト云フコトニナルト云フト、ソ
レヲ飲用シマスル者ハ、此酒ノ吉良サ
ンノ御述ベニナリマシタ概括的ノ害ト
云フモノノ上ニ、更ニ衛生上ノ直接ノ
害ト云フモノモ加ハッテ來ルノデアリ
マス、吉良サンノ御述ベニナリマシタ
御議論カラ云ヒマス、全ク反對ノ結
果ヲ來タスモノデハナカラウカト考ヘ
ルノデアリマス、左様ニ衛生上カラ見
マシテモ、又一面ニ取締ノ上カラ見マ
シテモ、今日ノ酒造税ヲ課セラレテ居
リマス所ノ酒造家ヲ、保護ト云フ言葉
ハ誤弊ガアリマスガ、詰リ事業者ニ對
シテ脅威ヲ與ヘルコトヲ避ケルト云フ
風ナ點カラ申シマシテモ、自家用酒ヲ
今日許シマス、ト云フコトハ、決シテ宜
シイコトデハナカラウト考ヘルノデア
リマス、併ナガラ酒ノ税ガ高クナリ、値
段ガ高クナルト、サウ云フ階級ニ於キ
マシテ之ヲ用キマスルノニ、非常ニ苦
痛デアルト云フヤウナコトデアリマシ
タ、此點ニ付キマシテハ、酒ト云フモノ
ガ若シ之ヲ禁止スルコトガ出來ルモノ
デアッテ若シ禁止スベキモノデアルト
云フナラバ、是ハ格別デアアルガ、只今吉
良サンハ一面ニハ酒ノ惡イコトヲ御述
ベニナルト同時ニ、必ズシモ酒ト云フ
モノヲ絕對ニ禁止スルト云フコトガ宜
イト云フ御議論デハナイヤウニ伺ッ
ノデアリマス、是ハ人類ノ嗜好品デア
リ、容易ニ禁止スルコトノ出來ルモノ
デナイト云フ風ニ吾々ハ考ヘテ居ルノ

デアリマス、亞米利加ニ於テ禁止ヲ致
シマシタ其結果ト致シマシテモ、決シ
テ其禁止ト云フモノガ徹底サレルモノ
デナイ、禁止致シマシタ結果トシテ、所
謂自家用の自分ノ家デ色々ノ酒ヲ造
ツタガ爲ニ、酒ノ害ト云フモノハ非常
ニ著シクナッテ來タ、寧ロ禁止前ニ於キ
マスルヨリモ著シイ害ヲ現ハシ、或ハ
失明ヲスル、或ハ氣違ヒニナルト云フ
風ニ、非常ナ害ガアルト云フコトヲ聞
イテ居ルノデアリマス、サウ云フ風ニ
絕對ニ禁止スルコトハ困難デアリ、又
其必要ハナイ、適當ニ之ヲ飲用スルコ
トハ、是ハ已ムヲ得ナイト致シマシテ、
酒ト云フモノガ個々ニ造ラレ、人ニ飲
マルト云フコトデアリマシタナラバ、
成ベク之ヲ品質ヲ良クシテ、衛生上害
ヲ除クト云フコトヲ努メナケレバナラ
ヌ、又同時ニ成ベク生産費ヲ安クシマ
シテ、安ク之ヲ供給スルト云フコトモ、
是モ必要デアラウト思フノデアリマ
ス、ソレ故ニ一面ニ於テハ生産費ノ低
下ト云フコトニ付テハ、當業者諸君ニ
於テモ十分御苦心ニナッテ居ル事ト思
ヒマスガ、是等ハ尙ホ改善ノ餘地ガア
ラウト思ヒマス、成ベク生産費ヲ安ク
シテ、サウシテ品質ノ良イモノヲ供給
シテ、少量ノ酒ニ依テ其欲望ヲ満たス
ト云フコトニナリマシタナラバ、一面
ニ酒ノ害ハナクシテ、人類嗜好ノ欲望
ヲ満たスコトニ相成ルダラウト考ヘル

ノデアリマス、自家用ヲ許シマス云フト、之ニ對シテ却テ反對ノ結果ヲ來スモノデハナカラウカト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、尙ホ地價二百圓未滿ノ免除、簡單ニ申シマスレバ自作農ノ免除ト云フコトニ對シマシテ御話ガアリマシタ、是ハ政府委員ニ對スル御質疑デハナカッタカト思ヒマスルガ、一應申上ゲテ置クコトガ便宜カト思ヒマス、二百圓未滿ノ免除ニ付キマシテ、町村ニ於テ非常ニ手數ガ掛ルト云フ御話デアリマスガ、是ハ寔ニ御尤ノ事デアリマシテ、町村ニ手數ヲ掛ケマスルコトハ、私共モ寔ニ氣ノ毒ニ思ッテ居ル次第デアリマス、併ナガラ是モ施行當初ニ於キマシテハ、手數ヲ掛ケルコトガ多イノデアリマスケレドモ、段々年ヲ經テ行クニ隨ヒマシテ、其手數ハ少クナツテ參ルダラウト考ヘテ居リマス、即チ自作農デ何某ハ幾ラノ地價ノ田畑ヲ持ッテ居ルト云フコトガ分リマシタナラバ、サウ異動ガ激シイモノデモアリマセヌカラシテ、將來ニ於キマシテハ割合ニ簡單ニナツテ來ルモノダラウト思ヒマス、併ナガラ此爲ニ町村ニ色ミ手數ヲ煩ハシテ居リマスコトハ、吾々モ寔ニ氣ノ毒ニ存ジテ居ル次第デアリマスケレドモ、併シ是ハ自作農ノ負擔ヲ輕減スルト云フ上ニ於テ、御互ニ其手數ハ忍バナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、尙ホ是デ勿論國稅ハ免除スル、地方稅ハ特別地稅トシ

テ其負擔ガ輕減シテモ、一面ニ於テ缺陥ヲ補フ爲ニ酒造稅ヲ上ゲタト云フコトニナルト、一箇年ノ消費ガ只今例ニ御取リニナツタ五圓二十錢デアリマスガ、其酒造稅ヲ拂フト云フコトニナリマス、何ニモナラナイト云フ御話デアリマスガ、是ハ五十一議會ニ於テモ屢當局カラ御說明申上ゲタ通り、酒ノ消費ト云フモノト、地租ノ負擔ノ輕減ト云フモノトハ、是ハ直接吉良サンノ御述ベニナツタヤウニ、左ノ方ト右ノ方ト云フヤウナ風ナ關係ノモノデハナカラウト思ヒマス、地租ノ負擔ノ輕減ハ、是ハ自作農獎勵ト云フ一ツノ大ナル目的ヲ持ッテ免除サレテ居ルモノデアリマスガ、酒ノ方ニ付キマシテハ、酒ノ消費者ト云フモノガ、其酒ト云フモノハ嗜好品デアツテ、サウシテ此消費者ニ於キマシテハ相當ナル負擔ヲスル力ノアルト云フコトデ稅率ヲ引上ゲタノデアリマスカラ、地租ト酒造稅ト云フモノトヲ左ノ方ト右ノ方ト云フ風ニ御比較ニナルト云フコトハ、少シ例ガ如何カト考ヘルノデアリマス、尙ホ此方ノ負擔ガ嗜好的ノ方面ニ於テ負擔スル、一方ニ於キマシテハ是ハ生活ニ直接ノ關係ノ方面ニ於テノ輕減デアリマスカラ、其點ハ少シ關係ガ違ッテ居リハシナイカ、全體ニ於キマシテノ歲入ノ補填ト云フ上ニ於テ、全體デ見マスレバ、成程一面ニ減ツタモノガ一面ニ於テ補填サレテ居リマス、各稅ニ付テ考ヘ

マスレバ其關係ガ異ッテ居ルヤウニ考ヘルノデアリマス
 ○吉良委員 誠ニ御尤ナル御答辯デアリマス、ソレヨリ以上ハ意見ノ相違ニナリマスカラ私ハ差控ヘマス、マダ質問ヲ致シタイ事ガアリマスガ、時間ガ最早喫飯ノ時間ニナツテ居リマスカラ、一寸少シ殘ル所ヲ極ク簡單ニ伺ヒマス、今度ハ直接御提案ニナツテ居リマス印紙稅ニ對スル件ニ付テ御問ヒ申上ゲタイ、昨日高橋君ヨリ詳細ニ御問ニナリマシテ、御答辯ガアッタノデアリマスガ、私モソレニ類シテ居リマスケレドモ、少シ私ノ質問ハ違フノデアリマス、ソレハ誠ニ愚問ト自ラモ考ヘテ居リマスガ、今更愚問デモ私ノ頭ニ分リニクイ事デアリマスカラ、忍ンデ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス、此印紙稅ノ性質如何、今更之ヲ研究シナイデモ、印紙稅ト云フモノハ既ニ過去數十年行ハレテ來タモノデアリマスルガ、私ハ此印紙稅ノ性質如何ト云フコトニ付テ實ハ疑義ガアルノデアアル、此度ノ御提案ニ依テ見マスルト云フト、現行法ニ於テハ比例稅ト定額稅トノ兩制度ヲ併用シ來ツタカラシテ、官民共ニ其手數ヲ要スルト云フコト甚ク、延イテハ不知不識ノ間ニ印紙稅ノ遺稅ヲ爲ス者ガアルコトヲ免レヌカラ、之ヲ廢シテ、サウシテ之ヲ階級定額稅ト又定額稅トノ兩制度ヲ併用スル、斯ウ云フ點デアリマス、昨日此點ニ於テハ詳細ニ御答辯ガアッ

タノデアリマスガ、印紙稅ト云フモノハ抑ドウ云フ性質ニ向ッテ課稅スルノデアラウカ、私ニ於テ疑義ガアル、其疑義ハドウ云フ譯カト申シマスニ、從來ノ比例稅ト云フ稅法ガ、本當ハ此印紙稅徵收ノ目的ニ適ウテ來ハセヌカト私ハ信ズル者デアアル、昨日此實際ノ場合ハ高橋君ヨリ精細ニ其事實ヲ列舉シテ御說明ニ相成ツタノデアアル、即チ一萬圓ヲ超ユル場合ノ如キハ、此度ノ御改正ニ依ルト一圓デ濟ムノデアアル、從來ノ比例稅デ以テ之ヲ算數ニ示スト云フト、一圓所デハナイ、二十圓ニモ三十圓ニモナルト云フ風デアリマシテ、是ハ課稅ノ不公平ト云フコトヲ免レヌコトニナルト私ハ——私ノ鈍イ頭デハドウシテモサウ云フヤウニ思ハレルノデアアル、此印紙ナルモノハ、唯々書類ニベタント貼ッテ、其貼ッタモノニ稅ヲ掛ケルト云フ單純ナモノデナカラウト思フ、サウデナイ證據ニハ、即チ金額ト云フモノノ多寡ニ依テ其證書ガ、或ハ契約ト云フモノノ效力ガ、非常ナ距離ノアル隔リノアル性質ノ證書ガ出來ルノデアアルカラシテ、ドウシテモ金額ノ莫大ナルモノニ向ッテハ莫大ナル印紙稅ヲ拂ハセルト云フコトガ、私ハ印紙稅ノ性質ニ適フモノデハナイカト思フノデアリマス、併シソレハ脫稅ノ懼レガアル、其脫稅ノ懼レト云フノハ如何ナル場合ヲ想像サレテノ御說カハ存ジマセヌガ、例ヘバ請負契約書ノ如キニ致シマ

シテモ、印紙税ヲ脱税セシガ爲ニ、請負契約ノ金額ヲ減シテ書クガ如キコトガアツタナラバ、後日若シ紛争ヲ生ズル場合ニハ、非常ニ困ルノデアツテ、私ハ其ヤウナ僅カナ印紙税ノ爲ニ金額ヲ削減シテ證書ヲ作ルモノトハ、ドウモ常識上信ジ得ナイノデアアル、是ハドウ云フ點ニアルノデアアリマセウカ、私ニ於テハドウモ少シ了解ニ苦シムノデアアル、ソレカラ此改正綱要ニ於テ明カニ御示シニナツテ居リマスル所ノ、「左記ノ證書ニ對シテハ免稅スルコト」トシテ(イ)ヨリ(リ)迄御示シニナツテ居ル、例ヘバ貯蓄銀行ノ發スル貯金通帳積金通帳及積金證書、或ハ賣買仕切書、送狀、質札、質物通帳ト云フヤウナモノヲ九箇條御列舉ニナツテ、是等ハ相當免除スル方ガ宜シイ、而シテ此「負擔ノ均衡ヲ圖ルト同時ニ上記改正ニ伴フ收入ノ減少ヲ補填セムカ爲ニ左記帳簿ニ對スル稅率ヲ引上クルコト」トシテ、(イ)(ロ)トシテ通帳ノ現行三錢ヲ五錢トシ、判取帳ノ現行二十五錢ヲ五十錢トス、斯ウ云フコトデアリマス、是ハ明ニ分ツテ居リマスルガ、是ガ私ハ抑々却テ非常ナ不公平ヲ來スモノト私ノ常識デハ考ヘルノデアアル、何故ニ左様ナコトヲ申スカト申シマスレバ、貯蓄銀行ノ發スル貯金通帳トカ積金通帳トカ積金證書ト云フモノニ免稅ニナツテ、サウシテ一般營業人ガ出ス所ノ通帳ト云フヤウナモノノ稅率ヲ御上ゲニナル、其缺陷ヲ

補フコトニナリマセウガ、是ハ大變ニ違ヒガ生ズルト思フ、然ルニ吾々ハ商業ノ上ニ付テ斯ウ考ヘルノデアアリマス、銀行ト云フモノガ貯金ヲ一般民衆ヨリ集メマシテ、サウシテ銀行業ヲ營ンデ利益ヲナスト云フコトハ、是ハ金融機關ノ上ニ於テ相當ナコトデアアルガ、ソレハ從來マレニ貼ッテ居リマスルガ、是ハ私ハ至當ノコトデハナイカト思フノデアリマス、一般營業人ガ營業上ニ通帳ヲ出ス、其通帳ニ三錢ヲ貼ッテ置ク、吾々ハ決シテ脱稅ヲ通稅ヲ企テルト云フヤウナ、サウ云フ邪惡ノ心ヲ以テ脱稅通稅ヲスルト云フヤウナ、サウ云フサモシイニ不都合ナ心ヲ持ッテ居ラヌデ、屢々稅務署ヨリヒドイ罰金ヲ科セラレタコトガアル、是ハ甚ダ法外デハナイカ、成程法外デセウガ、決シテ意アツテ左様ナ事ヲ致サヌ場合ガアル、此通帳ナドハ普通一人ニ對シテ僅ニ三錢ノ通帳デアリマスガ、何千冊ト云フ程出ス、或ハ何百冊ト云フ程出シテアル中ニ、此通帳ナルモノハ日々相互間ニ於テスル場合ガアリマスガ、或ハ遠隔ノ所ニ向フニ通帳ヲ置イテ、此方カラ現金ヲ送付シタ場合ニ、其通帳ニ附込ンデ其取引ノ明確ニ證據立テル爲ニ向フニヤツテアル、サウシテ凡ソ一年デハアルト思ヒマスケレドモ、其通帳ノ時期ト云フモノハ元帳ニ於テ能ク整理シテ置ケバ宜イノデアアルガ、ソレヲ一寸忘レタ爲ニ日限ガ一日切レテ、爲ニ

脱稅ニナツタモノニ、二年ニ跨ガルコトニナルカラト云フテ、非常ニソレヲヤカマシク仰シヤル、ソレハ成程ソレヲヤルベキモノデセウガ、サウ云フヤウナコトハ實ニ營業者トシテハ困ルノデアツテ、其通帳ハ日々此方ノ手元ニ來テ居レバ、是ハ日限ガ一日切レテ、早ク三錢貼ラナケレバナラヌト思フガ、向フ方ニヤツテ使ヒテ以テ其物品ノ取引ヲシテ居ルノデアアルカラ、丁度ソレガ正確ニ總テ整理スベキモノデアリマスケレドモガ、何カノ都合ノ爲ニ二三日切レテ記入ヲシテアル、モウ不都合デアルト云フテヤラレルト云フ場合ガ屢アルノデアリマス、是ハ營業人其モノガ惡イノデアツテ、決シテ稅務署ノ取扱ガ惡イト云フノデアアリマセウガ、其ヤウナコトニ對シテ殊ニ吾々營業人其他ノ商賣人ニ致シマシテモ、此通帳取引ト云フモノハ多ク現金ノ場合ニスルモノデハナイ、現金ナレバ通帳ガナクテモ一切明瞭ノモノデアツテ、サウ云フ證據立ツル必要ハナイノデアアル、延取引ニ皆通帳ト云フモノヲ使ッテ居ル、サウシテ一例ヲ申シマス、一年中十二箇月ニ取引シタノヲ、漸ク節季末ニ勘定スルノニ大抵與レヌノデアリマス、ソレデ翌年ニ廻ル爲ニ又三錢ヲ貼ルノデアリマスガ、僅カノヤウデアリマセウガ、是レ吾々ノ營業其他反物店ニ致シマシテモ、社會百般ノ商業ニ於テ隨分此通帳ト云フモノハ少シク大キク取引

ヲスル者ニハ、中々澤山ノ冊數ヲ出スノデアリマシテ、非常ニ是ハ困ルノデアリマス、サナキダニ營業稅、所得稅、縣稅附加稅、町村稅附加稅ト八重ニモ九重ニモ稅ヲ負擔シタ上ニ、又此通帳ガ一日切レレバ必ズ貼ルノデアアル、サウ云フコトヲ少シ理窟ナドヲ言フ者ニ對シテハ、稅務屬ナドガ態トヤルヤウデアリマスガ、ソレハ官僚的ニヤルノデ、サウ云フコトヲヤラレヌヤウニ御上手ニヤルノガ營業人ノ一番良イコトデアリマセウガ、是ガ困ル所デアリマシテ、僅カ三錢ノ稅ガ非常ニ小サイヤウナモノノ、是ハ一般全國ノ營業家ハ非常ニ苦痛ヲ感ズルノデアツテ、寧ろ營業人ニ對スル通帳簿ノ如キハ免稅シテ、サウシテ銀行業者ノ貯金通帳ノヤウナモノニ稅ヲ御取リニナルノハ、私ハ社會的ニ見テ相當ナモノデハナイカト思フノデアリマス、又判取帳ノ如キモノモ、僅カ二十五錢ノ違ヒデアリマスガ、從來二十五錢デアツタモノヲ五十錢ニスル、二十五錢違ヒノモノデアルト言ヘバソレマデデアアルガ、倍加稅ヲ課スルノデアツテ、四、ニ於テハ全然免稅ニナツテ後ノ五ノ方ノ通帳、判取帳ニハ殆ド倍加稅ヲ御加ヘニナツテ居ルト云フコトハ、私トシテハ困ラウガ、困ルマイガ僅カナコトデアアルカラ構ヒマセウガ、蓋シ全國ノ營業者ハ是ガ、爲ニ大ナル影響ヲ持ツコトデアラウト思フノデアリマス、是ハ如何ナル根據ニ依テ

御立案ヲ爲ツタノデアアルカ、此點ヲ一寸伺ヒシタイノデアアル、ソレカラ又参照トシテ所得稅及印紙稅改正ニ因ル稅額減少見込額ヲ登錄稅ト印紙稅ヲ各別ニ御示シニナツテ居ル、是ハ如何ナル根據ニ依テ算出サレタノデアアルカ、其算出ノ基礎ヲ明確ニ御答辯ヲ願ヒタイ

○黒田政府委員 愚問ト云フ前提ノ下ニ御質問デアリマシタガ、決シテ左様デハナク、根本ニ觸レマシタル洵ニ御尤ナ御質問ト拜承シタノデアリマス、第一ガ印紙稅ノ性質ニ付キマシテノ御質問デアッタノデアリマスガ、是ハ印紙稅ガ如何ナル性質ノモノデアアルカ、財政學等カラ申シマスレバ、學者ニ依リマシテハ多少異論モアラウカト思ヒマスガ、大體財政學ノ上デ普通交通稅ト稱シテ居リマスルモノニ屬シマスルモノト考ヘテ居リマス、即チ財產權ノ得喪變更ト云フ場合ニ當リマシテ、ソレニ財產權ノ得喪變更ニ關シマシテ受ケマス所ノ證書或ハ帳簿デアルト云フヤウナモノニ付キマシテハ、其財產權ノ得喪或ハ變更ト云フ場合ニ於キマシテ、擔稅力ガアル、相當ノ擔稅力ヲ現シテ居ルモノデアルト云フコトデ、其擔稅力ヲ標準ニ致シマシテ、之ニ課稅ヲスルト云フ性質ノモノデアルト考ヘテ居ルノデアリマス、普通交通稅ト申シテ居ルモノニ屬シテ居ルモノト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ印紙稅法ニ於キマシテモ、第一條ニ於テ定義ヲ提

ゲマシテ、財產權ノ創設、移轉、變更若クハ消滅證明ヲスベキ云々ト云フヤウナ文字モ使ツテ居リマス、左様ナ性質ト考ヘテ居ルノデアリマス、然ラバ左様ナモノデアアルナラバ、是ハ寧ロ比例稅ニシタガ實際ニ於テ適當デハナイカト云フ風ナ御意見モアッタヤウニ伺ッタノデアリマス、今回ノ改正ハ比例稅ヲ定額稅ト變更シテ居ルノデアアルケレドモ、比例稅ハ實際ニ於キマシテ脫稅ヲ招致スル、不知不識ノ中ニ脫稅ヲスルラ改メタノデアラウト申サレテ居ルノデアリマス、成程一面比例稅ハ適當デアルト云フ御議論ハ、是ハ一應ノ御議論ト承ルノデアリマス、或ハサウ云フ見方モ適當デアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、併ナガラ理論上比例稅ハ擔稅力ニ應ジテ課稅スルコトガ出來ルノデアアルカラ、比例稅ハ適當デアルト觀察致シマシテモ、之ヲ實際カラ見マスレバ必ズシモサウハ參ラヌ、ソレ故ニ實際ニ付テ考ヘマシテ、此印紙稅ト云フモノヲ成ベク負擔ヲ公平ニシテ、徵收ヲスルト云フコトニ致シマスルト、比例稅ヨリモ寧ロ是ハ或ハ階級定額稅或ハ定額稅ト云フ方ガ、却テ目的ヲ達スルコトニ便宜デアアルヤウニ考ヘタノデアリマス、ソレ故ニ單ニ理論カラ申シマスレバ、比例稅ガ宜シイト云フ御議論モ、必ズシモ私ハ宜シクナイトハ申上ゲマセヌ、ソレモ一ツノ御議論

ト考ヘルノデアリマスケレドモ、實際ニ付テ著眼致シマスルト、今日改正致シマシタヤウニ定額稅ト云フモノ方ガ適當デアアルヤウニ考ヘルノデアリマス、此事ハ吉良サンモ御承知ニナツテ、先程モ御述ベニナリマシタヤウニ、今日ノ比例稅ハ實際ニ於テ不知不識ノ間ニ脫稅ヲ誘致シテ、却テ負擔ノ公平ヲ失シテ居ル、是ハ昨日モ高橋君ノ御質問ニ對シテ御答申シタコトト考ヘマスガ、實際ニ行ヒ易ク致シマシテ、法文ノ通り是ガ日々行ハレテ居リマスレバ、法律ガ命ジマシタ通りノ負擔ヲ致シマスレバ、却テ其方ガ負擔ノ公平ヲ期スルコトガ出來ルコトト考ヘルノデアリマス、然ラバ脫稅ヲスルト云フコトハ、ドウ云フ所カラ起ルモノデアアルカ、例ヘバ請負金額ナドハ、其請負金額ヲ實際ヨリ低クシテ脫稅スルノデアアル、實際金額ヨリ低クシテ脫稅致シマスルト、後日爭ガ起ツタ時ニハ、却テ不都合デハナイカト云フヤウナ御尋ネモアリマシタ、併ナガラ脫稅ヲ致シマスルト云フノハ、金額ヲ低クスルト云フヤウナコトデハナイノデアリマシテ、印紙ヲ貼リマス際ニ於テ、請負契約ニ付テ申シマスレバ、請負金額ノ萬分ノ五ヲ貼ルベキモノデアアル、然ルニ萬分ノ五ト云フモノハ非常ニ大キナ金額ニ上リマスガ爲ニ、遂イソレヲ遁レヤウト云フ考カラ、相當ノ印紙ヲ貼ラナイノデアリマス、然ルニ此請負契約ト云フモノハ、是

ハ必ズシモ商賈人ノ手ニ在ツテ又常人ノ眼ニ觸レルト云フ風ナモノデアリマスカラ、脫稅ヲ致シマシテモ、遂イ發見サレルト云フ風ナ虞ガアルノデ、非常ニ注意ヲ致シマス者モアリマセウト思ヒマスガ、併シ請負契約書ト云フモノハ、サウ人ノ手ニ轉々スルモノデアリマセヌシ、個人間ニ授受シテ居ルヤウナモノデアリマスカラ、先ヅ發見サレズニ濟ムモノデアルト云フ風ナ考カラ致スノデアラウト思フ、其心理狀態ハ必ズシモ十分私ハ存ジマセヌガ、兎ニ角印紙ヲ萬分ノ五貼ラナイ、例ヘバ請負金額十萬圓デアリマスルト、萬分ノ五デアリマスカラ即チ五圓ヲ貼ラナケレバナラナイ、ソレヨリモ寧ロ五圓ヲ貼ルヨリ三錢位ノ印紙ヲ貼リマシテ、ソレデ濟マシテ置クト云フヤウナ例モ間々アルヤウニ伺ツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ風ニシテ實際ニ行ハレナイ、萬分ノ五ト云ヒマシテモ、請負金額ガ多イ場合ニハ、非常ニ多額ナモノニナルカラ、遂イ規定通り貼ラナイデ、脫稅ヲ圖ルト云フコトガ起ル、サウナリマスルト、法律ハ比例稅デ極メテ適當ニ出來テ居リマシテモ、實際ハ茲ニ脫稅ヲ誘致スル、少ナイ金額ノモノガ、又正直ナ者ガ法律通りノ負擔ヲシテ、多額ノ金額ニ互ル者、又ハ不正直ナ者ガ負擔ノ輕減ヲ圖ルト云フ風ナコトニナリマス、租稅ノ制度トシテハ宜シクナイト考ヘルノデアリマス、ソレ

故ニ一萬圓以上一圓ニシタコトハ、是ガ法律通り行ハレテ居リマシタナラバ、輕減ト云フコトニナルカ知レマセヌガ、サウ云フ輕減スルトカ云フ意味デナク、實行シ易イヤウニシテ、サウシテ法律通り行ッテ貫ヒタイト云フ考ヲ以テ規定致シタノデアリマス、ソレカラ貯蓄銀行ノ通帳、或ハ積金通帳等ヲ免稅シテ、通帳、判取帳ノ稅率ヲ増シタコトハ、適當デナイト考ヘルト云フ御意見デアリマシタガ、貯蓄銀行ノ發行スル通帳ハ、勿論銀行ガ拵ヘルモノデアリマス、併ナガラ銀行業者ハ預金ヲ受入レテ、之ヲ貸付ケルコトニ依テ利益ヲ擧ゲルノデアリマスカラ、是ガ銀行ノ經費ノ上ニ自然影響スルノデアリマス、此貯蓄銀行ノ通帳ニ附込マレル金額ハ、零細ナ金デアリマシテ、或ハ五錢、十錢ト云フ風ナ零細ナ金ヲ預ケテ來ル、其總金額ニ致シマシテモ、或ハ五圓或ハ十圓ト云フ風ナ、小サイ金額ガ附込マレル通帳ガ多數ヲ占メテ居ルノデアリマス、是等ノモノハ元金ガ小サイノデアリマスカラ、利子モ極メテ少イ、是等ハ金利ヲ成ベク多クシテ、成ベク預金ヲ多クスルヤウニシテ、勤儉貯蓄ノ美風ヲ養成シテ行クト云フ意味ニ於テ、成ベク有利ニスルコトガ必要ナラデアリマスカラ、之ニ對シテ印紙稅ヲ取ルト云フコトニナレバ、場合ニ依テハ少額ノ、一圓ニモ足リナイモノモ

印紙ヲ貼ラナケレバナラヌト云フコトガアルノデアリマス、サウナルト其主義ニ反スルコトニナリマスカラ、預金ヲ獎勵スル——銀行ノ負擔ヲ輕減スルト云フコトデナク、預金ヲ獎勵スルニ於テ、免稅スルコトヲ必要ト認メタノデアリマス、通帳ニ付キマシテハ、一ツノ通帳ニ於キマシテ、當事者ハ一人デアリマシテモ、其通帳ニ附込ム事項ハ多イノデアリマス、毎月ノ受取ヲ其通帳ニ於テ濟マシテ行ク、一年ニハ十二遍ニ利用サレルト云フコトニナルデアリマスカラ、權衡上カラ申シマシテモ、是等ノモノハ相當負擔ヲ増スコトガ適當デアラウ、判取帳ノ如キニ至リマシテハ、多數ノ當事者ヲ相手ニ致スノデアリマス、一人ノ當事者ニ對スル普通ノ受取ニシマシテモ、三錢ノ印紙ガ要ルノデアリマス、然ルニ判取帳ハ一人ノ當事者ニ對シテ屢用フルノミナラズ、多數當事者ニ對シテ用フルノデアリマスカラ、通帳ナドトノ權衡カラ申シマシテモ、是ハ相當負擔力ガアリ、又負擔ヲスルコトガ適當デアルト考ヘマシテ、判取帳ハ二十五錢ヲ五十錢ニ、又通帳ニ付テハ三錢ヲ五錢ニ致シタ次第デアリマス

ノガーツアリマス、登錄稅、印紙稅ノ改正ニ依ル稅額減少ノ見込額ハ、如何ナル根據ニ依テ御算定ニナッタカト云フコトガ御答辯ガアリマセヌ

○黒田政府委員 申上ゲルコトヲ落シマシタ、登錄稅、印紙稅ノ減稅額ノ算出ハ、大正十四年度ニ於キマシテ實際課稅ヲ致シマシタ金額、實ハ之ヲ算出スルニハ外ノ稅ト異ッテ的確ニスルコトハ相當困難ナノデアリマス、是ハ印紙收入トシテ總額トシテ入ルノデアリマシテ、單リ登錄稅、印紙稅ノミナラズ、手數料ニモ印紙ヲ用ヒラレマスシ、其他色ミノモノニ收入印紙ガ用ヒラレルノデアリマスカラ、所得稅トカ、營業收益稅ナドノヤウニ、十四年度ハ是ダケアツタト云フコトヲ正確ニ出シマスノハ極メテ困難デアリマス、併ナガラ大體從來ノ登錄ノ件數、登錄者ノ調べト云フ風ナモノヲ根據ト致シマシテ、相當ノ基礎ヲ以テ、出來ルダケ正確ヲ期シテ之ヲ調べテ居ルノデアリマス、其十四年度ノモノヲ基礎ト致シマシテ、印紙稅ニ付テハ大部分ノモノハ据エ置イテ居ルノデアリマス、動カシタモノ、又比例稅ヲ掛ケテ居ッタモノニ付キマシテハ、大體見込ヲ付ケテ減收額ヲ算出スル、登錄稅ニ付テハ率ガ變ッタモノヲ其儘組ンデ居ルノデアリマス、印紙稅ニ付テハ今マデ脫稅サレテ居ルモノガ相當アラウト考ヘテ居ルノデアリマ

ス、ソレ故ニ今日實際ニ十分ニ行ハレテ居ラヌト云フコトヲ申上ゲタノデアリマシテ、ソレヲ今同行ヒ易クシテ、其結果今マデ貼ラナカッタモノニ貼ルト云フモノモアル、是ハ相當斟酌シテ居ルノデアリマス

○武藤委員長 午後ニハ速記ガアリマセヌデ、開クコトガ出來マセヌ、通告者モマダ半分ニモ達シマセヌカラ、モウ少シ願ヒマス

○吉良委員 私ハ先刻ノ自家用酒ニ對スル御答辯ニ付テ尙ホ伺ヒタイノデアリマスガ、酒ニ付テハ昨年稅制整理ヲナサイマシテ、七圓御上ゲニナッタ、サウシテ從量稅トシテ御定メニナッタ、私ハ是ハ從價稅ニスル方ガ稅ノ目的ニ適フモノデアルト信ジテ居ル、併シ此方ヲ御尋ニスルト大分時間ヲ要シマスカラ、是ハ後ニ致シマス、今回第二次稅制整理ニ當リマシテハ、相當御考慮ノアツタコトト信ジマスルガ、凡ソ稅ナルモノハ、其負擔ヲ受ケル人ノ方カラ見ルト、一厘デモ増サヌ方ガ宜イノデアリシ、國家トシテハ極端ニ人民ノ苦シムヤウナ方面ニ稅ヲ掛ケルト云フノガ目的デアハアルマイト思フ、其邊ハ能ク分ッテ居リマスガ、私ハ異ナ事ヲ申スヤウデアリマスガ諸種ノ稅ノ均衡ノ上カラ考ヘマシテモ昨年ハ骨牌稅法ト云フモノニ御修正ヲ御加ヘニナッタト思ヒマスガ、是亦諸君ガ御笑ヒニナルカモ知レマセ

ヌガ、今中々全國ニ於テ基トカ將棋ト云フモノガ流行ル、基トカ將棋ト云フモノ其内容實體ヲ解剖シテ見レバ、人ノ所謂畫策或ハ計畫、或ハ敵ノ意ヲ豫測シ種々ナル遊戯トスルノミナラズ、非常ニ人智ニ良イコトカモ知レマセヌガ、今日ノヤウナ時代ニ於テハ、基ヤ將棋ヲ打ッテ居ル時代デハナイ、本當ニ私共ハ遺憾ニ感ズルノデアアル、議院内ニ於テモ春風駘蕩トカ言フテ、好キナ基ヤ將棋ヲ御ヤリナサルノハ勿論自由デアアルガ、此昭和ノ御代ノ第一年ニ於テ、我が帝國ノコトヲ考ヘテ見ルト云フト便々トシテ基ヤ將棋ヲ打ッテ居ル時代デハナイト思フ、吾々ハ此基ヤ將棋ニハ相當ノ課稅ヲシテモ宜クハナイカト思フ、コンナ事ヲ御考慮ニナッタコトガアルヤ否ヤ、又近來銅像トカ石碑トカ云ッテ、餘リ千古ノ偉人デモナイ薄ッペラナ人傑カハ存ジマセヌガ、サウ云フ人ヲ、到ル處ノ地方ニ於テ、其身分不相應ナ銅像石碑ノ類ヲ立テタリ、或ハ遊園ヲ設ケタリシテ人民ヲ遊惰ニ導ク風ガアル、勿論此銅像ヲ建設スルガ如キハ、其人ノ遺德ヲ慕ヒ、感化ノ上ニ宜シイコトデ、吾々ガ外國ニ行ッテ見マシテモ、色々其地方カラ出タ偉人ヲ俾ブ爲ニ、大抵ナ所ニハ銅像ガアリ、石碑ト云フモノモアル、近來我が帝國ニ於テハ、斯ウ云フ事ガ一種ノ何カ競争ニナッテ居ッテ、其人ノ實質ヲ論ズルト云フコトニ付テハムヅカシクナリマス

ガ、コンナモノハ相當吾々ハ重稅ヲ課シテ、濫設ヲ防グト云フコトハ、國土ノ狹少ナル面積ニ於テ、厄介ナル詰ラヌモノヲ造ルナドト云フコトハ、私ハ此國土利用ノ上、即チ國土經營ノ上ニスベカラザル事デアアルト思ヒマス、斯ウ云フコトニ於テ政府ハ御調査ヲナスコトコトガアルヤ否ヤ、此遊園ノ如キモノハ、是ハ一種ノ娛樂機關デアリマシテモ、國立公園トカ、或ハ立派ナ公園ヲ以テ人民享樂ノ場所ト致シテアル、是ハ吾々ハ敬服スルノデアリマスガ、近來ハ此公園ノ有様ハ、個人ガ徒ニ驕奢贅澤ヲ恣ニスルガ爲ニ拵ヘテ、サウシテ其上入場料ヲ三十錢ナリ、五十錢ナリ取ッテ入レテ樂シムヤウナルコトガアル、ソレニ對スル稅率ト云フモノハ、地方稅カ何カデ少々アルカハ知りマセヌガ、極メテ僅少ナモノデアアルト思フ、其例ヲ一々指摘スルト云フト、其經營シテ居ル人ニ對シテ甚ダ面白カラヌカラ申上ゲマセヌガ、殊ニ大阪地方ニハ斯ウ云フ計畫ガ多イ、我が帝國ガ黃金時代ニナリマシテ、亞米利加ノヤウニ黃金ガ横溢スル時代ニナッタ時ハ、アア云フヤウナ遊園地ト云フモノヲ到ル所ニ設ケテ、サウシテ國民ガ大ニ樂シミ大ニ歌ヒサザメキ、喜ビ踊ルノモ宜イカモ知レマセヌガ、我が帝國ノ今日ハ、臥薪嘗膽ト行カヌ迄モ、モウ少シ謹慎シテ居ラナケレバナラヌ筈ト私ハ思フ、ソ

レハ何ヲ以テ言フカト云フト、輸出輸入ノ均衡ガ著シク取レヌノデ、我國ノ産業ト云フモノハ各方面ニ於テ熱心ニ唱導サルルケレドモ、ドウシテモ外國ノ輸入ニ打勝ツコトガ出來ヌノデアアルカラ、國民ガ此ニ於テ非常ニ眞面目ニナッテ掛ッテ居ラヌト、帝國ノ前途甚ダ憂フルノデアアルガ、一般ニ驕奢贅澤ヲ恣ニスル人ハ、サウ云フコトヲ心得テ居ラヌト思フ、實ニ甚ダ吾々ハ見ルニ忍ビヌ事ガ多イノデアアル、相當ニ利用ノ利ク、所謂此生産ノ經營ヲシテ、國家ノ福利ヲ増進スベキ計畫、即チ工場トカ、或ハ商業ヲ營ム爲ニ、立派ナ建物若クハ設備ヲ致シマシテヤルト云フヤウナコトハ、頗ル結構デアアルケレドモ、ドウモ、徒ニ莫大ナル面積ヲ有スル地ヲ應用シテ、贅澤ナルコトヲヤッテ人ヲシテ遊蕩氣分ヲ唆ッテ居ル、サウシテソレヲ收入ノ目的ニシテ居ルト云フヤウナ風ナコトヲ東京ニ於テモ少々見受ケマシガ、此點ニ於テハ大阪ガ最モ多イ、其例ハ一々茲ニ存ジテ居リマスケレドモ、ソレハ少シ遠慮ヲ致シタイノデアリマスガ、近年承ル所ニ依レバ、大震災後我が帝國ノ商工業若クハ國家ノ利福ヲ増進スベキ策源地ガドウ云フ意味カ、大阪ヲ中心トシテ流レテ行ッテ居ルヤウニ思ハレル、是ハ私ノ想像ガ間違ッテ居ルカ知りマセヌガ、相當東京ニ御住ヒノ方モ、都合ニ依テ大阪ヲ本場トシテ色々御計畫ヲ樹テ、色々ニ此事

業上ノ經營ヲ進メラレテ居ル、ソレハ御自由デアラウ、頗ル良イ事デアラウガ、ソレガ爲ニ一般民衆ガ感染スベカラザルコトニ感染スルノデアアル、此驕奢贅澤淫逸遊蕩ト云フコトハ、是ハ一般國民ハ見セ付ケラレレバ餘程面白イ、實ハ口ニスベカラザル言語同斷ナルモノニ應用シテ居ル、莫大ナ遊園地、若クハ風俗壞亂見タヤウナコトヲヤル所ガ多イコトヲ私ハ明ニ知ッテ居ルノデアアル、是ハ國家トシテ相當防止スル方ガ宜クハナイカ、ソナコトハ所有權者ノ勝手次第ノモノデアアルト云ヘバソレマデデアアルガ、今日ハ國土ノ面積ガ狭小ナル爲ニ、人口ハ非常ニ増大シテ居ルケレドモソレニ對スル産業ノ施設ガ之ニ伴ハナイカラ、洵ニ寒心ニ堪ヘナイ、憂慮スベキ状態デアアルト言ハレテ居ルノデアアル、是ハ實ニサウデアルト思ヒマス、ソレデ此内閣ニ於テモ此對策ニ付テハ頗ル御考慮ニナッテ、種種ノ計畫ヲ御樹テニナッテ居ル、一方ニ詰ラナイ——詰ラナイト云ヘバ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、社會ノ驕奢淫逸遊蕩ヲ唆ル氣分ノ方ニ利用スベキ遊園施設ヲ見マシヤウナモノモ莫大ニ在ル、或ハサウ云フコトヲヤルノモ至當ナコトカモ知レマセヌガ、一方國家ニ於テモ相當ナル稅ヲ課ケテ之ヲ調節スルト云フコトガ、吾々ハ至當デハナイカト心得テ居リマスガ、此邊ノ御見解ハ如何ナモノデスカ

○黒田政府委員 第五十一議會ニ於キ

マシテ、税制整理ノ際ニ骨牌税ヲ改正致シタノデアリマス、當時二十錢デアリマシタモノヲ麻雀ト其他ノモノヲ區別致シマシテ、麻雀三圓其他ノモノハ五十錢ト改正致シタノデアリマス、是ハ其當時モ御説明申上ゲマシタ通り、明治三十五年ニ制定サレマシタ以來其税率ガ變ヘラレテ居ナカッタノデアリマシテ、其當時ト比較シマスト云フト、ソレラノ課税ノ目的ニナリマス骨牌ノ價格モ非常ニ騰貴致シテ居ル、ソレデアルカラ之ニ附隨致シマシテ、ソレラノ物ノ性質カラ考ヘマシテ、相當之ヲ引上ゲルコトハ適當デアルト云フコトヲ御説明申上ゲタノデアアル、サウ云フ風ニ骨牌税ハ當時色々研究致シマシタガ、先ヅ麻雀ト云フモノガ此頃新シク出テ來テ居ル、ソコデ此麻雀ト云フモノニ對シテハ、矢張他ノ骨牌ト同ジヤウニ、是ハ偶然ニ一ツノ事ニ依テ勝敗ヲ決スルト云フ風ナモノハ、他ノモノト同ジヤウナモノデアリマスカラ、是ニモ課税ハ必要デアルト云フノ致シタノデアリマス、其當時將棋ト云フヤウナモノニ付テモ考慮ヲ致シタノデアリマス、然ルニ將棋ト云フモノハ花札デアルトカ、「トランプ」デアルトカ麻雀デアルトカ云フ如ク、主トシテ偶然ノ事柄ニ依テ勝敗ヲ決スルモノデハナイノデアリマシテ、主トシテ其人ノ技術ニ依テ勝敗ヲ決スルト云フ風ナ

性質ノモノデアリマス、所謂賭博類似ト云フモノヨリモ娛樂、純然タル娛樂的ノモノデアルト云フ風ニ考ヘマシタノデアリマス、娛樂ト云フモノガ餘リ此頃ハ流行ガ烈シクナッテ宜シクナイト云フコトヲ御慮ニナリマシテノ御議論ハ御尤デアアル、吾ミト致シマシテモ、勿論今日ニ於テ國民ノ精神ヲ作興シテ、緊張シナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ震災後ノ御詔書ニモアルコトデアリマシテ、勿論必要ノ事ト考ヘテ、是ハ出來ヌ事ト考ヘルノデアリマシテ、是ハ何事デアリマシテモ、勿論極端ニ參リマストバ弊ヲ生ズルモノデアリマス、此將棋ニ對シテモ、若シ之ガ花札デアルトカ、或ハ「トランプ」ノ如ク賭博ト云フモノニ用キラレマシテ、サウシテ、惡イ結果ヲ來タスト云フコトニナレバ、是ハ考慮シナケレバナラヌト思フ、此將棋ト云フモノハ、先刻申上ゲマシタ通り主トシテ技術ニ依テ勝敗ヲ決スモノデアッテ、左様ノ性質ノモノトハ自ラ異ナッテ居ルヤウニ考ヘルノデアリマス、是ヲト同様ニ課税スルト云フコトハ、如何デアラウカト云フ風ニ當時ハ考ヘタ次第デアリマス、自ラソレニ耽ッテ弊ノ生ズルコトヲ矯メルニハ、他ニ方法モアリマスカラ、税ヲ以テ之ヲ致スト云フコトモ如何カト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、

當時第五十一議會ノ税制整理ノ際ニ改正案ヲ出シタノデアリマスガ、今回第二次ノ税制整理ニ於テハ、勿論此點ヲ更ニ考ヘマシタ次第デアリマス、ソレカラ銅像デアルトカ、遊園地トカ、只今御述ベニナリマシタコトヲ私ハ十分ニ理解シナイ點モアリマスガ、御趣旨ハサウ云フ人ヲ遊惰ニ導クヤウナ施設ヲ致シ、又ハ無益ニ貴重ナ地面ヲ占有シテ、不生産的ニ化スルト云フコトハ、宜シクナイ事デアアルカラ、之ニ税ヲ課シテ、サウ云フ事ヲ阻止シタラ宜シイデハナイカト云フ御趣旨デアリマシタガ、ソレ等ハドレダケノ弊害ノ生ズルモノデアリマスガ、私ハ十分ニ御質問ノ趣旨ヲ諒解致サナカッタノデアリマシタガ、併ナガラ大體御尋ネノヤウデアリマツタナラバ——風紀上ノ弊ガアリマストカ云フヤウナ事デアリマスレバ、是ハ勿論他ノ方面カラシテ取締ガ十分出來テ、サウ云フヤウナモノハ許サルベキモノデナイト思フ、他ノ娛樂的ノモノデアレバ、是ハ或程度マデハ必要ナモノモアラウカト考ヘマス、サウ云フモノニ對シテ國稅ヲ以テ之ヲ禁止スルト云フヤウナ働ヲサスト云フコトハ、是ハ如何デアラウカト考ヘテ居ルノデアリマス、但シ今回特ニ講究シタノデアリマス、地方税トシテハサウ云フヤウナモノニ課税スル場合モ或時ニハアラウカト思ヒマスガ、國稅トシテハ如何デアラウカト考ヘテ居ルノ

デアリマス、併シ今回之ニ付テ特ニ調査研究シタノデハナイノデアリマス、唯ミ私ハ御質問ヲ承ハリマシテ、私ノ考ダケヲ申上ゲタ次第デアリマス
○吉良委員 私ハ最後ニ一ツ質問ヲ申下ゲタイノハ、昨年第一次税制整理ノ際ニ、國民ノ生活必需品ニハ課税スベカラズト云フ原則ノ下ニ醬油其他ノ廢稅ヲ行ハレマシタ、是ハ大英斷デアッタカモ知レマセヌガ、私ノ考ハ——ソコハ意見ノ相違デ致方アリマセヌガ、醬油ノ廢稅ヲ致シマシタ爲ニ、ドレダケ醬油ガ安クナリ、稅ヲ納メヌ爲ニドレダケ醬油ヲ國民ガオイシク戴イテ居ルカト云フコトハ、是ハ幾ラカ安クナッタト云フコトモ承ハリマシタガ、私ノ信ズル所ニ依リマスレバ、醬油ト云フモノハ非常ニ高ク利益ヲ取ルモノデアル、是ハ酒造稅法ト違ッテ、從來ト雖モ醬油稅法ト云フモノハ餘程國家ハ御考ヘニナツタモノト見エマシテ、諸味ニ對シテ僅ニ一圓七十五錢——諸味一石ニ付一圓七十五錢ノ稅デアッテ、微々タル稅デアッタノデアアル、ソレモ國民生活必需品ニ對シテ課税スルノハ宜シカラズトシテ御廢メニナツタノデアアル、サウシテ議會ニ於テモ之ヲ協賛シタノデアアルガ、是ハ私ハ諸者ノ一矢デナカッタカト思フ、醬油ト云フモノヲ研究シテ見マストルニ、大豆ハ滿韓ノ大豆ヲ挽キマシテモ、僅ニ十六圓デ十八圓ヲ出デヌモノデアアル、鹽ニシテモ極メテ安イノデア

ル、小麥ニシテモ洵ニ今日デハ安イ、帝都ノ小麥値段ハ凡ソ上等ノ醬油ニナレバ一圓位デアラウガ、是ガ從業者ハ莫大ナ利益ヲ得テ居ルモノデアルト云フコトヲ確信シテ疑ハヌ、サウ云フコトヲ申セバ、醬油業者ハ憤ルカモ知レマセヌガ、實際ニ於テハ醬油ノ業ニ從事シテ居ル者ハ、非常ナ利益ヲ獲得シテ居ルノデアアル、國家ガ各種ノモノニ稅ヲ課スルト云フコトハ、是ハ止ムヲ得ヌニ出ルノデアアツテ、斯様ナ收入ヲ得ザレバ國家ノ財政ト云フモノハ維持ガ出來ヌカラ、從來ト雖モ之ヲ御取リニナツタ、相當醬油稅ヲ御取リニナツテ居ッタ、ソレヲ廢メテ、サウシテ國民ガ之ニ依テ受ケル影響如何ト云フコトニ付テ考ヘテ見ルニ、是ガ計數ノ上ニ明確ナル數字ヲ現ハスコトハ出來マセヌガ、洵ニ醬油ノ下ツタト云フコトハ微々タルモノデアアル、又醬油ト云フモノヲ製造スルニハ、即チ諸味ヲ搾ツテ、之ニ人工色ミノ技術ヲ加ヘマシテ、巧ミニ調味料ヲ應用シマシテ、市場ニ賣出ス間ニ於テハ、其巧拙色ミアリマスケレドモ國立ノ試驗場ニ於テモ御研究ノ通リニ、洵ニ是ハ面白イヤウナモノデアリマシテ、實ニ醬油釀造ト云フモノノ内容ヲ御承知デナイ方ハ御存知アリマスマイガ、今日醬油一升五六十錢カラ一圓位取ラレテ、一般ニ餘リ高イモノデナイト考ヘテ居ルカモ知レマセヌガ、是ハゾウクリ返スヤウナ商賣デアアル、

是ニ少々ノ稅率ヲ課シタ所ガ、何等私ハ差支ナイモノデアアツテ、是ガ營業人ハ、坊主丸儲ケト云フコトガアリマスガ、醬油丸儲ニナツテ居ル、ソレカラ此賣藥稅ト云フモノガ、政府ノ御説明ニ依レバ、寒村僻地ノ醫者ノ無イ所デハ風ヲ引イテモ醫師ノ治療ヲ受ケルコトガ出來ヌカラ、賣藥ニ依テ治ス、生命ヲ助ケルモノデアアル、是ニ課稅スルコトハ甚ダ忍ビヌ、洵ニ御議論ハ結構デアアル、所ガ藥九層倍ト申シマシテ、今日世ノ新聞紙上ニ廣告ヲシテアリマス藥ノ中ニ、是ハ隨分效果ノ偉大ナルモノガアルコトモ私ハ認メルノデアアル、賣藥ト云フモノハ總テ役ニ立タヌ、無效無害ノモノデアルト云フヤウニ論ズル人モアリマスルガ、私ハサウハ見ナイ、賣藥ト云フモノハ相當效果ノ有ル賣藥、尊敬スベキ賣藥ト云フモノガアルコトヲ信ジマスガ、又一面ニハ人ヲ馬鹿ニシタ賣藥ト云フモノガ頗ルアル、一寸御笑ヒニナルカモ知レマセヌガ、近來ノ新聞紙面ヲ賑ハスル「トツカピン」ナドハドウデアリマセヌケレドモ、實ニ驚入ッタモノデアアル、一割ヤ何カノ課稅ヲシタ所ガ、國民ガ困ルモノデモ何デモナイ、ソレデ賣藥屋ハ非常ナル大福々デアアル、實ハ此賣藥稅ガ一割、十圓ノモノナラバ一圓印紙ヲ貼ル、一圓ノモノハ十錢印紙ヲ貼ル、減稅ニナッタカラソレダケハ量ヲ多クシタ、有效品ノ配分ヲ多クシマ

シタト云フ、是ハ素人ノ知ラナイモノデアリマス、増量ヲシタ所デ洵ニ安イモノデ、増量ノ調合ガ如何様ニデモ出來ルノデアリマス、從來アレヲ賣藥印紙ヲ貼リ居ッタトキニハ、洵ニ相當ナル取締ガ出來テ居ッタガ、今日賣藥稅ノ印紙ヲ貼ラナクナッタ所ガ、現ニ吾々知リ得ル所ノモノニ致シマシテモ、成程藥ノ量ハ多クシテアルケレドモ、其實人ヲ馬鹿ニシタヤウナコトヲシテ、世人ヲ欺イテ居ル藥ガアルト云フコトヲ私ハ認メテ居ル、是ハ決シテ間違デハナイ、要スルニ畢竟此賣藥屋ハ大儲ケデ、洵ニ賣藥屋萬歲、獨リ酒造業者ノ如キハ非常ニ困ツテ居ル、サウスルト云フト自然ニ水掛論ニナリマスケレドモ、此處ハ能ク御考ヲ願ヒタイ、勿論此帝都其他ノ都府地方ニ於テハ、上等ノ酒ガ需要サレルモノデアリマス、灘ノ生一劑ヲ含有セヌト云フ物ガ、何ソゾ知ラシテ居ル、サウ云フ物ガ二圓——マア酒ニ依テ色ミ違ヒマスケレドモガ、樽ニ圍フテ、所謂日本酒ノ特有風味ヲ有ツテ居ルモノガ、帝都ニ於テハ三圓以上三圓五十錢モシテ居ル、ソレデアアルカラシテ地方ノ釀造家モ其様ナ上等ノ酒ヲ造レバ宜イデハナイカト云フ說モアル、成程造レバ宜イノデアアル、所ガ田舎ノ酒造家ト雖モ、今日造リ得ナイコトモナイガ、需要供給ノ上カラ、其様ナル

高イモノハ地方ニ居ル者ガ買ヒ得ナイモノデアアルカラシテ、已ムヲ得ズ此精製白米ノ上ニ於テ多少ノ調節ヲシテ居ルノデアリマス、帝國ノ釀造協會ナドニ於キマシテモ、近來ハ毎年々々釀造品評會ヲスル、サウシテ金杯銀杯トカ云フモノヲ取ツテ、非常ニ天下ニ廣告シテ居リマスガ、實ニ笑フニ堪ヘタルモノガアル、松竹梅ト云フ酒ハ一升五圓位ノモノヲ帝都ニ賣ツテ居ル、或ハ白鷹ト云フ酒ハ三圓五十錢ニモ賣ツテ居ル、サウ云フヤウナ酒デ見マスルト、一石四十圓ノ課稅ハ少シモ苦シイコトハナイ、是ハ小賣値段デアリマス、田舎ニ於ケル先ヅ一圓、一圓二十錢ノモノニシマスと云フト、非常ナル苦痛ヲ拂フテ居ル、一方又國家ノ食糧政策ノ上カラ考ヘルト、米ヲ三割五分、四割、四割五分、五割ト云フヤウニ精白ニスル爲ニ四斗ノ玄米ヲ二斗三四升搗潰シテ銘酒ヲ得ルト云フ、ソレハドレ程ノ銘酒ニナルカト云フト、色澤ニ付テハ非常ニ澄明純潔ニナルコトハ勿論、ソレカラ舌觸リガ非常ニ良クナツテ、輕イラ實ニ爽カナ上等ニナルコトハ、是ハ分ツテ居リマスケレドモガ、ソシテ其レハ清酒トシテ微妙ナモノデハナイ、併シ之ヲ技術的ニ申シタナラバ、非常ニ銘酒デアアルガ、實ハ詰ラヌコトデアツテ、此日本ニ於テハ今日食糧問題ニ甚ダ苦シク居ル際ニ、三割ダノ四割ダノト云フテ米ノ水晶体ノ本質マデ崩シテ

シマツテ、サウシテ其殘ツタモノデスル
ト云フヤウナコトハ、是ハ獎勵スル必
要ハナイ、粗白米デハ勿論舌モツレノ
スル、惡醉ヲスル、強烈ナル辛味ノアル
酒ハ出來マスガ、ソレハイケマセヌデ
セウ、相當「フーゼル」油ガ出來テ、副産
物ガ出來テイケマセヌガ、先ヅ今日上
等ノ玄米デゴ「ザイマス」レバ、大抵一割
乃至一割三四分精製白ニ致セバ、大變
立派ナ酒ガ出來ルヤウデアアル、併シソ
レハ都人種ノ嗜好ニ適セヌカモ知レマ
セヌケレドモ、先ヅ其程度ニシテ、ソレ
ガ飲マレヌモノデモナケレバ、害ヲス
ルモノデモナイ、實ニ立派ナモノデア
ル、ソレデアリマスルノニ、是非其精製
白ニシテ、技術的ニ酒ヲ拵ヘナケレバ
ナラヌト云フコトニナルト、一部分ノ
人ハサウ云フモノヲ歡ビマスケレド
モ、國民全體ハ之ヲ需要スルコトガ出
來ナイ實際ノ事情ガアリマス、ソレデ
アリマスカラシテ、ドウシテモ國家ト
云フモノハ此際斯ノ如ク酒造稅ヲ引上
ゲナケレバナラヌト云フコトニ御認メ
ニナル以上ニ於テハ、少シク手段ガ御
面倒デアリマセウケレドモ、從價稅ト
云フコトニ御調査ヲ進メラレテ、サウ
シテ今申上ゲルヤウナ日本一ノ銘酒ト
云フヤウナモノハマダ高クシテモ宜シ
イ、四十錢、五十錢、六十錢、七十錢位ニ
致シテモ決シテ苦シイモノデハナイナ
ラバ、今ノ四十錢ノ課稅ヲ八十錢ニシ
テモ宜シイカモ知レヌ、之ニ比シテ地

方ノ需要ヲ圖ル所ノ安イ酒、即チ今日
デ見マスト地方ハ大抵、一圓内外ノモ
ノヲ賣ツテ居ルノデアリマスルガ、ソレ
ラノモノニ對シテハ、ズツト課率ヲ引下
ゲテ之ヲ御課稅ニナルコトガ私ハ適當
ナコトデアラウト思フ、サウシマスル
ト此國民ガ清酒需要ノ上ニ於テ苦シム
程度ト云フモノモ甚ダ薄クナルノデア
リマス、所ガソレハ檢査手續及從價稅
ヲ加ヘルト云フコトニ付テハ、甚ダ稅
務取扱上面倒デアアルト云フ御説明ガア
ルデアルカモ知レマセヌガ、ソレハ面
倒カモ存ジマセヌ、併ナガラ大體ニ於
キマシテ今日ハ面倒デナイト云フコト
ヲ私ハ信ズルノデアリマス、營業人ガ
營業帳簿ニ虛偽ノコトヲ記載スルコト
ガ出來ナイ、併ナガラ不都合ナ者ガア
テ、多少ノ不都合ナコトヲスルカモ知
レマセヌケレドモ、其處ニハ稅務官吏
ガ居ルノデアリマシテ、大體其地方地
方ニ於テハ御賣值段、小賣值段ト云フ
モノヲ御調査ニ相成リマスレバ、大凡
ノ目安ト云フモノガ必ズ付クノデアリ
マス、今日營業稅ノ課率標準ニ於キマ
シテモ、所得稅ノ課率標準ニ於キマシ
テモ、稅務署ニ於テハ營業人ノ帳簿及
小賣營業人ノ店舖ニ就テ種々御問合セ
ニナリ、又御自分ニモサウ云フヤウナ
所ヲ參照シテ、大體ノ課率ノ標準ト云
フモノヲ見テ御ヤリニナリ得ルノデア
リマス、ソレデアリマスルカラ是ハ決
シテ實際上左程困難ナ事デハナイト信

ズル、速ニ政府ハ調査ノ歩ヲ御進メニ
相成リマシテ、此從價稅ニ御改メニ相
成リマスレバ、營業人モ至當ナル手段
ヲ受クルノデアアルシ、又需要者モ良イ酒
ヲ上リタイ御方ハ、今日ハ一升五圓デモ
十圓デモアリマスカラ、斯ナ酒ハ飲メ
ヌ、斯ウ云フノデナケレバイカヌ、灘ノ生
一本之ニ限ルナドト云フテ御上リニナル
何ゾ知ラヌ、ソレハホンノ「レツテル」ヲ
飲ムノデアアツテ、其實ハ廣島ノ酒デア
ルカ、若クハ福岡ノ酒デアアルコトハ、能
ク吾々ハ知ツテ居ル、何デモ高イ酒デナ
クテハ飲マレヌト言ツテ飲ンデ誇トシ
テ居ルカラ結構デアアル、ソレデ租稅ハ
御覽ノ通り中ニ安イ稅デナイト、サウシ
テ國家ノ收入ニ於テモ二億圓ヲ超過ス
ルモノデアリマス、ソレデ此營業人ト
云フモノハ、是ハ相當保護スルマデニ
行カズトモ、營業人ト云フモノハ氣ノ
毒ナモノデアアルト云フコトハ御同情ヲ
願ハナケレバナラヌ、現ニ地方ニ於ケ
ル吾々同業人ハ、其初ニ比シマシテ今
日ハ五分ノ一乃至七分ノ一ニ減ツテ居
ルノデアアル、今日ハドレ程アルカ確ト
存ジマセヌガ一萬人内外デアラウト思
フ、現ニ増稅ニ堪ヘ得ナイデ續々廢業
シテ居ル者ガアル、是ハ實ニ氣ノ毒ナ
モノデアアル、ソレハ營業人ソレ自體ノ
營業ノ方針ガ誤ツテ居ルカラデアアルト
云フ話モアルカモ知レマセヌケレド
モ、田舎釀違家ニハ其ヤウナ分ッ者バ
カリ居リマセヌ、ドチラカト云フト從

順羊ノ如ク猫ノ如ク馬鹿ノ如キ人多
イ、ソレデソレ程ノ大増稅ヲセラレテ
モ、恬トシテ何トモ思ウテ居ラヌヤウ
ナ無神經ナ者モアル、其實狀實ニ氣ノ
毒ナコトガアル、貸シテ取レナイ金ガ
多クシテ、其營業ヲ維持シテ行クコト
ガ困難デ、吾々位ノ者デモ大約三十萬
圓バカリ事實アルノデアリマス、困ッテ
居ル、吾々ハ寧ろ廢業シタイト思フケ
レドモ、中ニドウモ之モ棄テ得ナイ、ソ
レハ取レルカト云フニ取レヌノデ株デ
漸ク千五百石内外ノ營業ヲシテ居ル、
ソレハ馬鹿ラシイカラ、現金取引ニス
レバ宜イデヤナイカト言ハレルカモ知
レヌ、成程其通りデアアルカモ知レヌガ、
商業慣習ハ中ニ改メラレヌ、田舎ニ於
テハ今日ハ丁度舊ノ二十九日デアリマ
ス、帝都ニ於テハソナコトハアル筈
ハナイト申スカモ知レヌガ、田舎デハ
舊ノ正月、今日ハ歳ノ夜デアラウト思
フ、ソレデ一年中ノ掛ヲ吳レルカト云
フト、今年ノヤウナ不景氣ニ吳レルモ
ノデハナイ、御醫者サンノ拂ヒ、色ミナ
モノガアル、米ヲ賣ツタ金デ足ラヌカラ
酒屋ハ一年後廻シニナル、來年一年待
ツテ吳レト云フコトニナル、ソナ事
ガアルモノカト申シテモ、大抵サウ云
フコトデ行ツテ居ルノデアアル、ソレデア
ルカラ是ハ間接稅デアアルカラ、飲料者
ニ掛クル稅デ、營業者ハ苦シイ譯ハナ
イヤウデアアルガ、何ゾ知ラヌ取レズシ
テ行クノハ悉ク直接稅ノ性質ニナツテ

來ルノデアアル、ソレデアアルカテシテ吾々ノ如キ洵ニ無資産程度ノ者デアアルケレドモ、色々ノ吾々ノ收入、權利トカ、或ハ小作米トカ、或ハ他ノ營業ヨリ生ズル利益ヲ以テ酒ノ方ニ填補シテ、漸ク營業シテ行キ居ル者ガ維持シ得ルノデアアル、ソレデスカラ酒造營業ノミデ立ッテ居ル者ハ悉ク倒産シテ居ル、ソレハ不都合デアアル現金取引ニスレバ宜イデヤナイカト云フカモ知レマセヌケレドモ、サウナレバ田舎ハ結構デアアルガ、多年ノ商業習慣ト云フモノハドウシテモサウ云フコトガ出來ナイ、農家ノ經濟ナルモノハ翌年廻シ翌年廻シトナッテ居ルノデ、舊ノ年ガ變ッテ、正月ノ一日カラハ又五合三合ノ需要ヲ一年十二箇月ヲ固メテ貸シテ行カナケレバナラヌ、併シ株ガアルカラドウヤラ斯ウヤラヤッテ行ッテ居ルガ、ソレガ大增稅ニナリマシタ爲ニ、吾々同業人ノ中ノ半數以上ト云フモノハ、實際營業ガ出來ナイ羽目ニ陥ッテ居ルト私ハ信ジテ居ル、是ハ決シテ私ガ實ニ過ギタコトヲ申スノデアアリマセヌ、九州ナドハ特ニサウ云フ取引ニナッテ居リマス、貸シタ金ガ取レヌ場合、金ヲ整ヘル上ニ付テ之ヲ裁判所ニ持出スト云フヤウナコトハ、今日ハ法治國デアアルカラシテ宜シイヤウナモノデアアルガ、是ハ營業ノ上ニ於テ酒ノ賣掛代金ヲ裁判所ニ訴ヘテ督促ヲスルト云フ時ニハ、最早營業ト云フモノハ廢メル時デナクテハ出來

ヌ、サウ云フヤウナ事デアリマスル爲ニ、實際營業人ノ苦痛ト云フモノハ甚ダシイモノデアアル、大正十五年ニ於キマシテ、甚ダシキハ會社ナド酒造稅ガ出來ナイ爲ニ、到頭公賣ニ陥ッタノガアル、其時ニ吾々ハ何トカシテ救濟ノ途ヲ立テテヤリタイト思ッテ色々考ヘテ見タガ、ドウモ中々其救濟法ガナイ、而シテ入札ト云フ場合ニ行ッテ見ルト、地方ノ品評會ニ一等等ノ名譽ヲ得テ居ルヤウナ實ニ立派ナ酒デアリナガラ、遂ニ一升ノ價格五十八錢トカ五十七錢デ泣キノ涙デ人ニ取ッテ貰ッタト云フヤウナコトガアル、悉クデアアリマセヌケレドモ、サウ云フコトガアル

○武藤委員長 吉良君、時間ガ大分迫リマシタカラ宜シク……

○吉良委員 ソレデ斯ウ云フコトガアリマスカラシテ、私ハ是ハ質問ト云フヨリモ、此從價稅從量稅ノ關係ハモウ多年ノ問題デアリマスルガ、御調査ニナリマシテ、是非近キ將來ニ於テ從價稅ニ御改メニナルヤウニ御調査ヲ進メラルルヤウニ切望シテ已マス者デアリマス、モウ是デ質問ヲ止メマス

○黒田政府委員 醬油稅或ハ賣藥稅等ニ付テ色々御述ニナリマシタガ、之ニ付テモ申上ゲタイコトモアリマスガ、時間モ大分迫ッテ居リマスカラ略シマシテ主トシテ御質問ノ御趣旨ハ酒ノ課稅ヲ從價稅ニスルヤウニト云フ御意見デアリマス、左様ニ調査ヲ進メルヤウ

ニト云フコトニ歸著致スヤウデアリマス、酒ヲ從價稅ニ致シマスルコトニ付キマシテハ、過日武藤サンノ御質問ニ對シテモ御答へ申上ゲタカト考ヘルノデアリマスガ、成程今日酒ノ値段ガ種類ニ依テモ違ヒ、場合ニ依テ安イ酒モアリ高イ酒モアルト云フコトハ、勿論申上ゲルマデモナイ、殊ニ吉良サンハ其道ノ專門家デアラセラレマスカラ、勿論御話ノコトガ間違ッテ居ルトハ考ヘナイノデアリマスルガ、併ナガラ之ヲ從價稅ニ致シマスニ付キマシテハ、地方々々區別スルコトハ勿論出來マセヌシ、又酒ニ依テ價格ヲ定メルコトモ困難デアリマスカラ、時ニ依レバ今御話モアリマシタ通り、或ハ一等等ニ品評會ナド當ルモノモ五十六錢トカ七錢デナケレバ賣レナイト云フ風ナ場合モ起ッテ來ル、所謂投賣ヲスル、サウ云フ場合ニ於テ從價稅ニシテ投賣ヲスレバ安イ稅ニナルト云フコトニナリマシテ、酒ノ値段ヲ一面ニ於テハ崩スト云フコトノ便宜ニスルト云フコトモ、全體ノ酒造業トシテハ考慮シナケレバナラヌ事デハナカラウカト思ヒマス、課稅上ニ於テ地方的ノ區別モ出來マセヌシ、又酒其モノデ一定ノ價格ニスル譯ニモ行カヌ、時ニ依テ違フカラ記帳シテ置イテ、後カラ課稅スレバ宜イデハナイカト云フ御議論モアリマセウ

ヘテ居リマス、併ナガラ是ハ一ツノ御議論デアリマシテ、吾々モ必ズ間違ッタ議論デアアル、到底サウ云フコトハイカヌモノデアアルト云フコトヲ申上ゲル意味デハナイノデアアリマスカラ、勿論將來ニ於キマシテハ考究ハ致シマス、十分ニ考究ハ致シマスルガ、今日ニ於キマシテハ、非常ニ困難デアアル、又酒造家ガ困ッタト云フコトヲ増稅ニ關係シテ御述ニナリマシタガ、是モ詳シク申セバ吾々モ申スコトガアリマスガ、今日ノ釀造業ハ大組織ニ向ッテ來ル、醬油モ同ジデアリマスガ、大組織ニ向ッテ來レバ、小サイ所ハ經費ガ困難ニナルノデ、單リ稅率ノ上ツタ點ニノミ罪ヲ歸スル譯ニ參リマセヌ、又精米ヲ三割モ四割モ搗減リスルコトハ不經濟デアアルカラ、之ヲ獎勵スルコトハ宜シクナイト云フコトモ御同感デアッテ、吾々モサウ云フコトヲシテ優良酒ヲ造ルコトヲ歡迎スルノデアナイノデアアリマス、適當ナル搗減リニ依テ醇良ナル酒ヲ造ルコトニ向ッテ工夫ヲシテ、生産費ヲ下ゲルコトヲ考ヘナケレバナラヌノデアアリマス、要スルニ御趣旨ハ從量稅ニ付テ研究セヨト云フコトデアリマスカラ、其點ニ付テノミ御答ヲ致シテ置キマス

○武藤主査 是ニテ散會致シマス……

○奥村委員 私ハ次回ニ商工省ノ鑛山局長ト工務局長ニ、昨年ノ關係モアリ

マスカラ、ドウカ委員長ヨリ出席ノコ
トヲ御交渉ヲ願ヒマス
○武藤委員長 宜シウゴザイマス、今
日ハ午後ハ速記ガアリマセヌカラ休ミ
マシテ、何レ公報ヲ以テ次回ノ御通知
ヲ申上ゲマス

午後零時五十三分散會

昭和二年二月一日印刷

昭和二年二月二日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社